

九州電力株式会社
川内原子力発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003197号99

成績書管理番号：01

令和3年10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：01

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年6月15日
至 令和3年10月19日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原発本第224号 (令和2年3月19日) 原発本第26号 (令和2年4月7日) 原発本 第108号 (令和3年9月30日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：01

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 6月15日	良	岩村直樹	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：01

検査年月日 令和 3 年 6 月 15 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号: 01

検査年月日: 令和3年6月15日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・一	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	良・一	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：01

検査年月日：令和3年6月15日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設 換気設備 主配管 (1, 2号機共用) (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査*1 寸法検査*1 外観検査 耐圧検査 漏えい検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、 所定の性能を有しており、 技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認*1
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-06-02-e(3) *1 検査対象における貫通部のうち、 グラウト番号=A-9123(図面番号:F1-99MA391)及び、 A-9216, A-9233(図面番号:F1-99MA392)を確認。 ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査) (立会検査)

成績書管理番号: 01

検査年月日: 令和3年6月15日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
放射線管理施設 換気設備 主配管 緊急時対策所非常用空気浄化ファン ～ 緊急時対策所非常用空気浄化フ ィルタユニット ～ 緊急時対策所 非常用空気浄化ライン 緊急時対策 棟(指揮所) 出口取合点(1, 2号機共 用) (別添1参照)	外観検査	-	良	目視
	耐圧検査	別添2参照	良	目視
	漏えい検査	別添2参照	良	目視
備考 ・検査対象における貫通部のうち グアウト番号: A-9123 (図面番号: F1-99MA391) 及び A-9216, A-9233 (図面番号: F1-99MA392) を確認。				

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 検査用計器一覧表

成績書管理番号：01

検査年月日：2023年6月15日

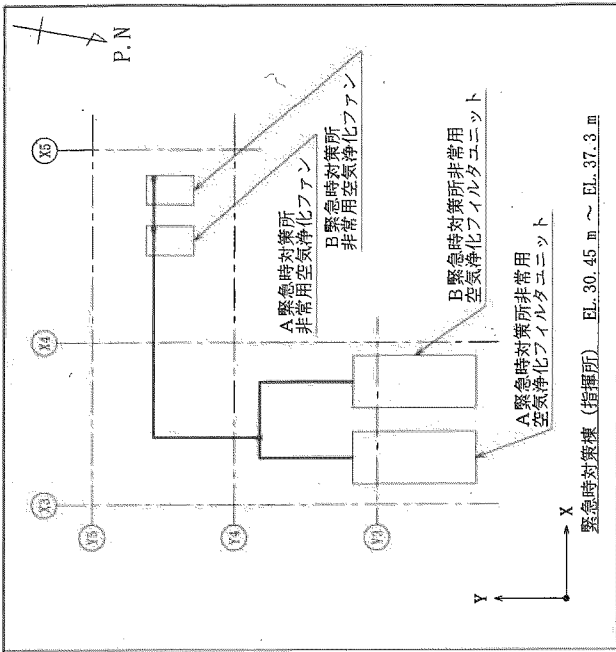
検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査 漏えい検査	デジタル マノメータ	DPG-009	0~20.00 kPa	±0.05 kPa	2021.04.13 2021.07.31	
耐圧検査 漏えい検査	デジタル マノメータ	DPG-010	0~20.00 kPa	±0.05 kPa	2021.04.13 2021.07.31	
以下余白						

放射線管理施設
2 換気設備
(3) 主配管

・常設

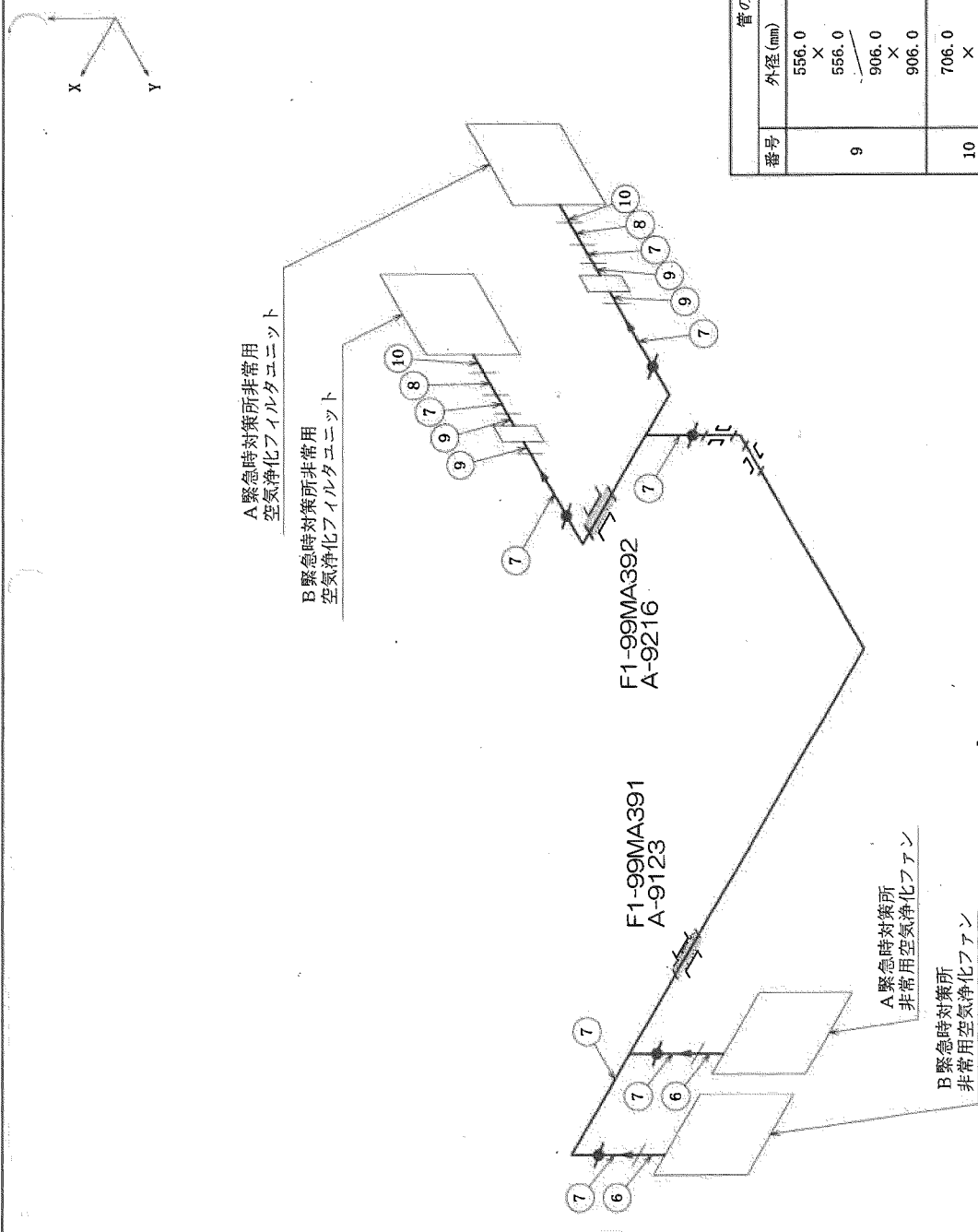
変更前				変更後			
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名
換気設備	緊急時対策所非常用 空気浄化ファン 緊急時対策所非常用 空気浄化ファンユニット 緊急時対策所非常用 空気浄化ライン 緊急時対策棟 (指揮所) 出口取合点 (1,2号機共用)	0.0054 <small>(注1)</small>	50 <small>(注1)</small>	318.5 <small>(注2)</small>	10.3 <small>(注2)</small>	STPT370	318.5 <small>(注2)</small>
				318.5 <small>(注2)</small>	10.3 <small>(注3)</small>	STPT370	318.5 <small>(注2)</small>
				306.0 <small>(注2)</small>	3.0 <small>(注2)</small>		306.0 <small>(注2)</small>
				456.0 <small>(注2)</small>	3.0 <small>(注2)</small>		456.0 <small>(注2)</small>
				456.0 <small>(注2)</small>	3.0 <small>(注2)</small>		456.0 <small>(注2)</small>
				556.0 <small>(注2)</small>	3.0 <small>(注2)</small>		556.0 <small>(注2)</small>
				556.0 <small>(注2)</small>	3.0 <small>(注2)</small>		556.0 <small>(注2)</small>
				556.0 <small>(注2)</small>	3.0 <small>(注2)</small>		556.0 <small>(注2)</small>
				556.0 <small>(注2)</small>	3.0 <small>(注2)</small>		556.0 <small>(注2)</small>
				556.0 <small>(注2)</small>	3.0 <small>(注2)</small>		556.0 <small>(注2)</small>
	(次頁へ続く)						

変更前					変更後										
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材	料	名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材	料
									(前頁からの続き)			556.0 × 556.0 / 706.0 × 706.0	3.0 / 3.0		
										0.0054	50	556.0 × 556.0 / 906.0 × 906.0	3.0 / 3.0		SUS304
												706.0 × 706.0	3.0		
												27.2	2.5		
												60.5	3.5		SUS304TP
										0.99	40	89.1	4.0		
									緊急時対策所加圧ライン ポンベラック恒設配管接続 フレキシブルホース 出口接続口 流量調整弁(指揮所) 及び 緊急時対策所加圧ライン 緊急時対策棟(指揮所) 出口取合点 (1,2号機共用) (次頁へ続く)			60.5	3.5		SUS304TP
									換気設備						
									換気設備						



番号	管の設計仕様		材料
	外径(mm)	厚さ(mm)	
6	530.0	3.0	SUS304
	280.0	3.0	
	556.0	3.0	
7	556.0	3.0	SUS304
	556.0	3.0	
8	556.0	3.0	SUS304
	556.0	3.0	
	706.0	3.0	

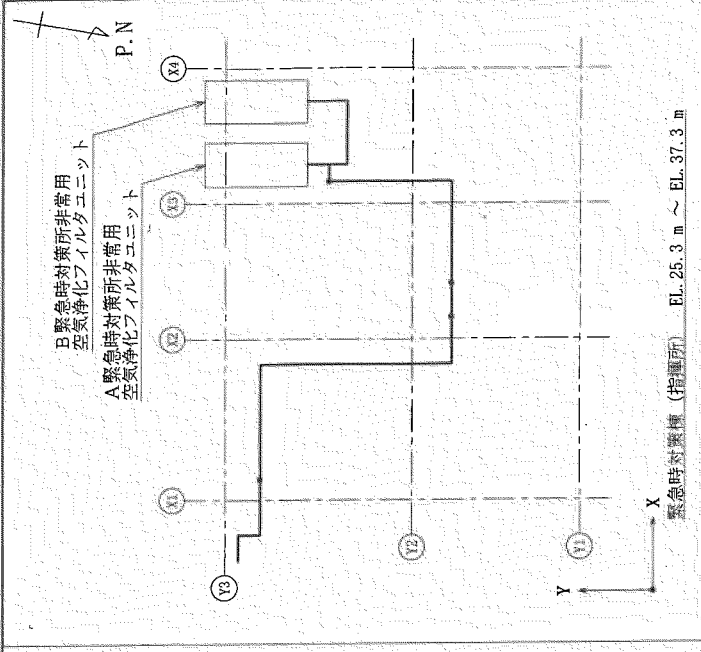
番号	管の設計仕様		材料
	外径(mm)	厚さ(mm)	
9	556.0	3.0	SUS304
	556.0	3.0	
	906.0	3.0	
10	706.0	3.0	SUS304
	706.0	3.0	



■ : 材料検査 (記録確認)、寸法検査 (記録確認)
 ■ : 材料検査 (記録確認)、寸法検査 (記録確認)
 ■ : 外観検査 (立会)、耐圧検査・漏えい検査 (立会)

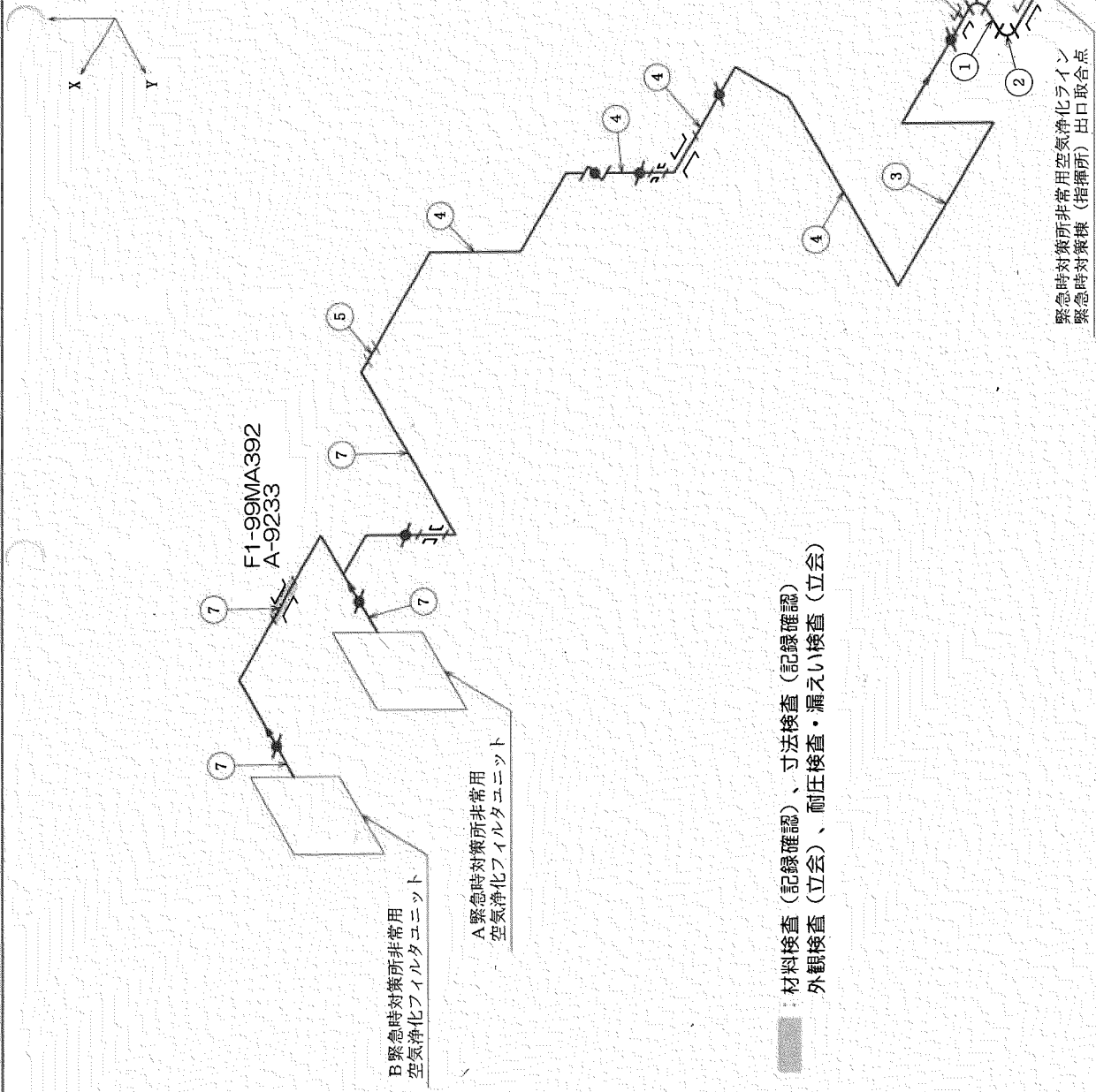
※1,2号機共用

(注1) 管の設計仕様の番号とアインメント中の○内の番号は一致する。
 (注2) 本図の範囲の配管はすべて重大事故等クラス2管を示す。



番号	管の設計仕様		材料
	外径 (mm)	厚さ (mm)	
1	318.5	10.3	STPT370
2	318.5	10.3	STPT370
3	306.0	3.0	SUS304
4	456.0	3.0	
	456.0	3.0	
5	556.0	3.0	
	X	3.0	
	556.0	3.0	
7	556.0	3.0	
	556.0	3.0	

※1.2 号機共用



■ 材料検査 (記録確認)、寸法検査 (記録確認)
外観検査 (立会)、耐圧検査・漏えい検査 (立会)

(注1) 管の設計仕様の番号とアインメント中の○内の番号は一致する。
(注2) 本図の範囲の配管はすべて重大事故等クラス2管を示す。

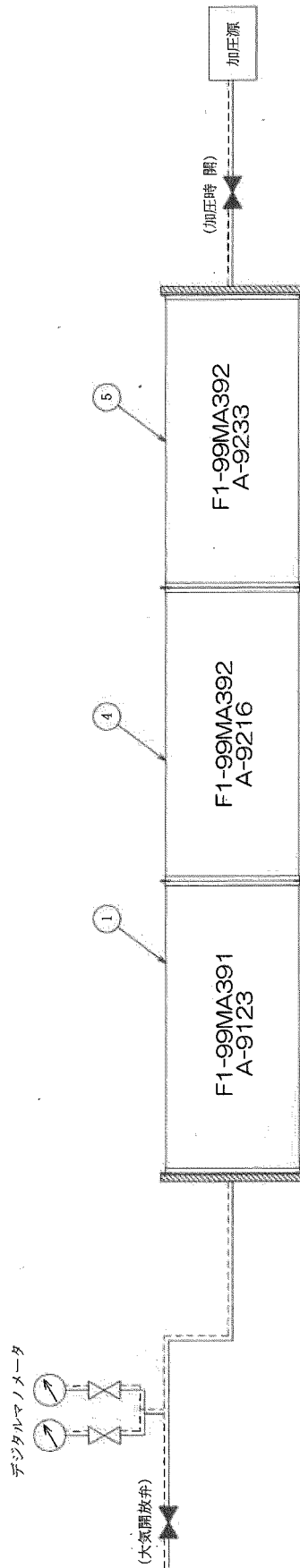
要領図要目

- : 耐圧検査、漏えい検査範囲 (加圧範囲) を示す。
- - - : 耐圧検査、漏えい検査反配管を示す。
- ☐ : 加圧設備 (仮設) を示す。
- X— : 耐圧検査、漏えい検査時開弁を示す。
- : 耐圧検査、漏えい検査時開弁を示す。
- : 耐圧検査、漏えい検査用デジタルマノメータを示す。
- ▨ : 耐圧用接続板を示す。

検査範囲	
緊急時対策所非常用 空気浄化ファン ~ 緊急時対策所非常用 空気浄化ユニット	
主配管	
換気設備	緊急時対策所 非常用空気浄化ライン 緊急時対策棟 (指揮所) 出口取合点 (1, 2号機共用) のうち 貫通部 ※1

※1

- ① 緊急時対策所非常用空気浄化ファン室壁貫通部
- ④ 緊急時対策所非常用空気浄化ユニット室入口側壁貫通部
- ⑤ 緊急時対策所非常用空気浄化ユニット室出口側壁貫通部



水圧・気圧の区分	気圧
耐圧検査、漏えい検査圧力	0.0054 MPa (0.0054 MPa × 1.0) 以上

耐圧検査、漏えい検査要領図

耐圧検査、漏えい検査記録

令和3年6月15日

設計結果		耐圧検査 圧力 (MPa)	保持 時間 (分)	漏えい検査 圧力 (MPa)	検査 結果	確認 方法
名称	最高使用 圧力 (MPa)*1					
放射線管理施設 換気設備 主配管						
緊急時対策所非常用空気浄化ファン ～ 緊急時対策所非常用空気浄化フ ィルタユニット ～ 緊急時対策所 非常用空気浄化ライン 緊急時対策 棟 (指揮所) 出口取合点 (1, 2号機共 用) (別添1参照)	0.0054	0.00581	16	0.00578	良	目視

備考

* 1 : 重大事故時における使用時の値

・検査対象における貫通部のうち、

ダクト番号 = A-9123 (図面番号 = F1-99MA391) 及び、

A-9216, A-9233 (図面番号 = F1-99MA392) を確認

検査結果一覧表

成績書管理番号：01

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 7月15日	良	大江 勇人	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：01

検査年月日：令和 3 年 7 月 15 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号: 01

検査年月日: 令和3年7月15日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：01

検査年月日：令和 3 年 7 月 15 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設 換気設備 主配管 (1, 2 号機共用) (別添 1 参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 ※1	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">記録確認</div>
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録 (※) による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-06-02-e (2) ・目視で確認した範囲：添付資料 3-3 参照 ※1：検査対象のうち、貫通部配管 (図面番号：F1-99MK607 (006)) について確認。 			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査) (立会検査)

成績書管理番号：01

検査年月日：令和3年7月15日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
緊急時対策所加圧ラインボンベラック恒設配管接続フレキシブルホース出口接続口～流量調整弁(指揮所)及び緊急時対策所加圧ライン緊急時対策棟(指揮所)出口取合点(1,2号機共用)※(別添1参照)	外観検査	—	良	目視
<p>備考</p> <p>※：検査対象のうち、貫通部配管(図面番号：F1-99MK607(006))について確認。</p>				

放射線管理施設
2 換気設備
(3) 主配管
・常設

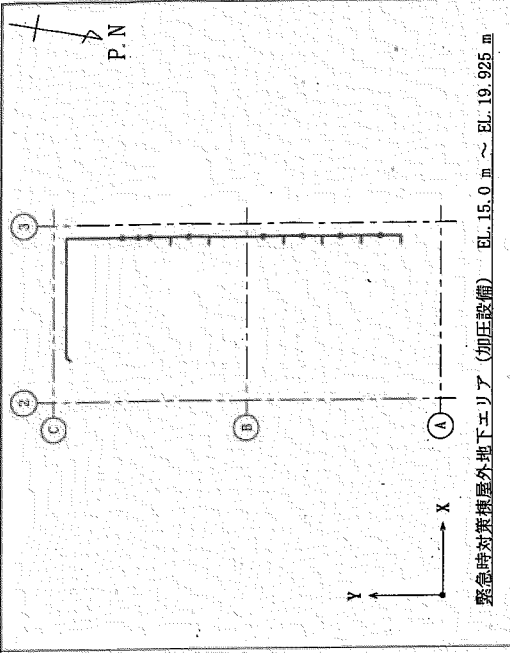
変更前				変更後			
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
換気設備	(前頁からの続き)	0.0054 ^(注1)	50 ^(注1)	556.0 ^(注2) ×	3.0 ^(注2) /	SUS304	
				706.0 ×	3.0 /		
換気設備	緊急時対策所加圧ライン ポンペラック恒設配管接続 フレキシブルホース 出口接続口 ～ 流量調整弁 (指揮所) 及び 緊急時対策所加圧ライン 緊急時対策棟 (指揮所) 出口取合点 (1,2号機共用) (次頁へ続く)	0.99 ^(注1)	40 ^(注1)	27.2 ^(注2)	2.5 ^(注2)	SUS304TP	
				60.5 ^(注2)	3.5 ^(注2)		
				89.1 ^(注2)	4.0 ^(注2)		
				60.5 ^(注2)	3.5 ^(注2) (注3)		

変更前			変更後			
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
換気設備	(前頁からの続き)	0.99	40	89.1	(注2) 4.0	SUS304TP
				60.5 / 27.2	(注2) 3.5 / 2.5	
				89.1 / 60.5	(注2) 4.0 / 3.5	
				60.5 / 60.5	(注2) 3.5 / 3.5	
				89.1 / 60.5	(注2) 4.0 / 3.5	
				89.1 / 60.5	(注2) 4.0 / 3.5	
				89.1 / 89.1	(注2) 4.0 / 4.0	
				89.1 / 89.1	(注2) 4.0 / 4.0	
				89.1 / 89.1	(注2) 4.0 / 4.0	
				89.1 / 89.1	(注2) 4.0 / 4.0	
				89.1 / 89.1	(注2) 4.0 / 4.0	

(注1) 重大事故等時における使用時の値。

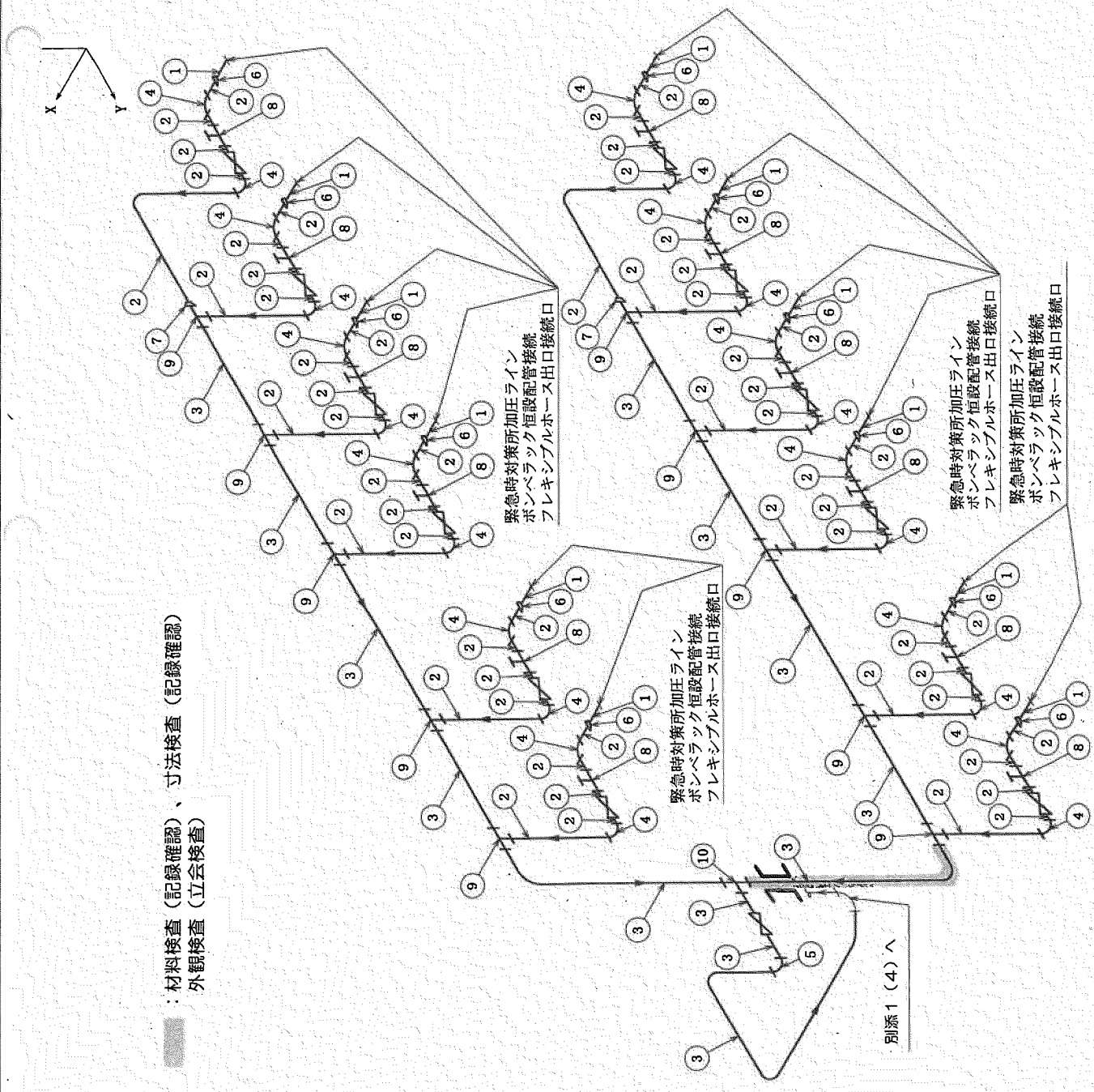
(注2) 公称値

(注3) エルボを示す。

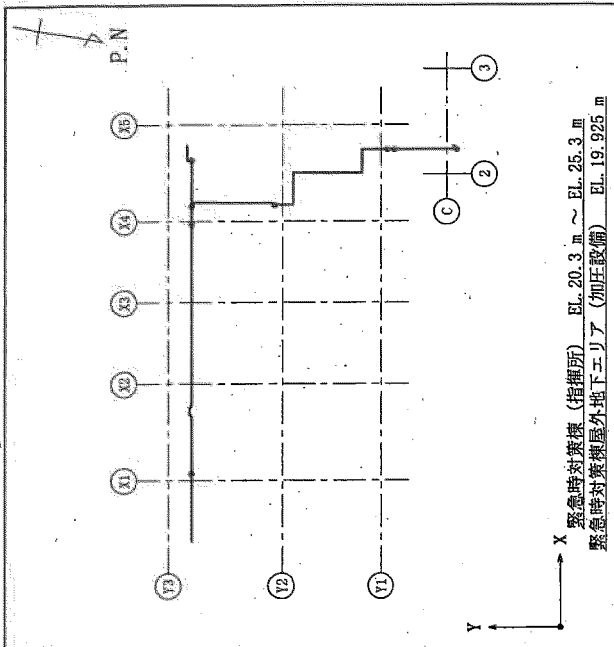


番号	管の設計仕様		材料
	外径 (mm)	厚さ (mm)	
1	27.2	2.5	SUS304TP
2	60.5	3.5	
3	89.1	4.0	
4	60.5	3.5	SUS304TP
5	89.1	4.0	
6	60.5	3.5	
7	27.2	2.5	
8	89.1	4.0	
9	60.5	3.5	
10	60.5	3.5	

※1,2号機共用

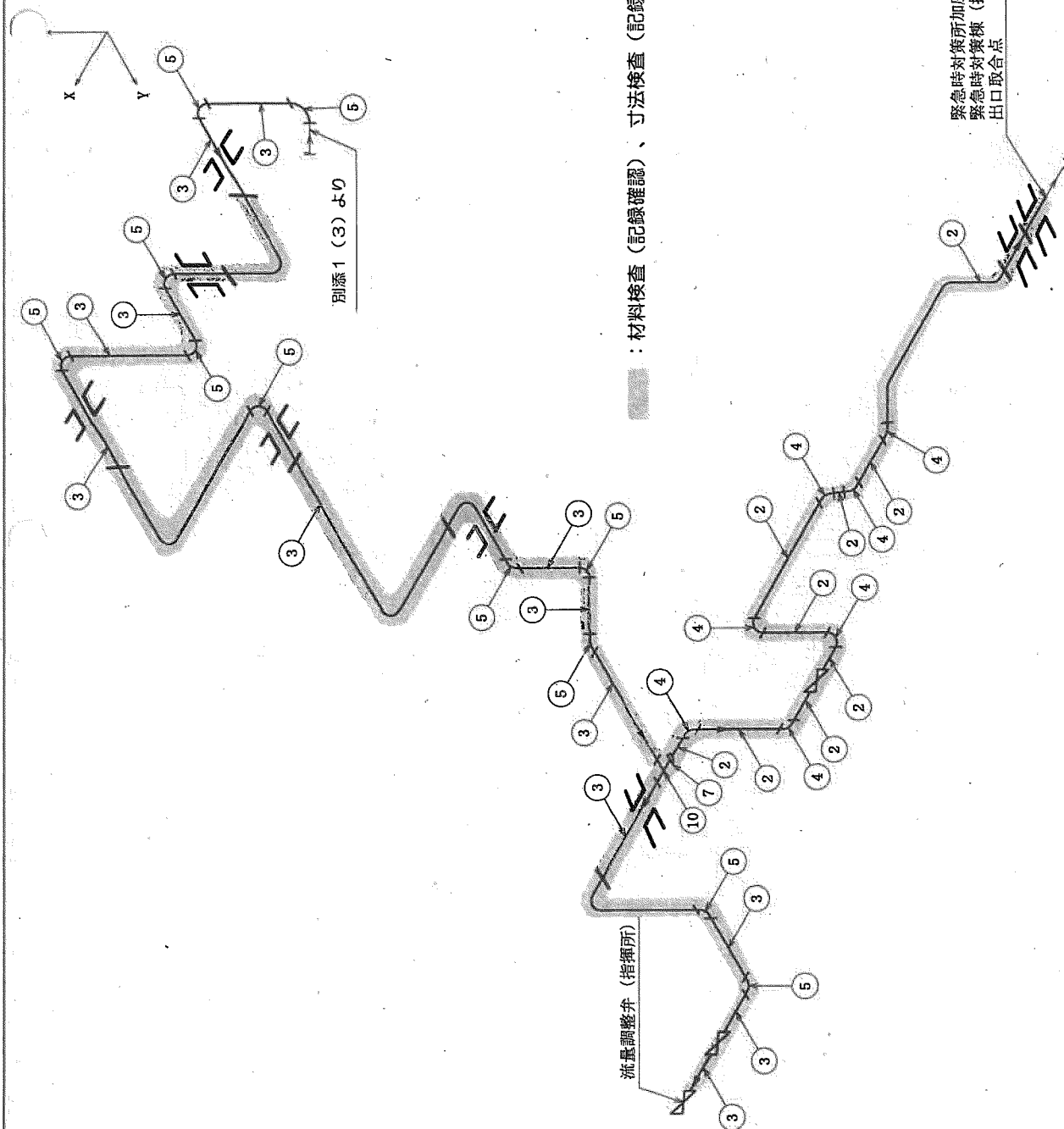


(注1) 管の設計仕様の番号とアイソメ図中○内の番号は一致する。
 (注2) 本図の範囲の配管はすべて重大事故等クラス2管を示す。



管の設計仕様			
番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
2	60.5	3.5	SUS304TP
3	89.1	4.0	
4	60.5	3.5	
5	89.1	4.0	SUS304TP
7	89.1	4.0	
10	60.5	3.5	
	89.1	4.0	

※1,2 号機共用



■ : 材料検査 (記録確認)、寸法検査 (記録確認)

(注1) 管の設計仕様の番号とアイコンメ图中○内の番号は一致する。
 (注2) 本図の範囲の配管はすべて重大事故等クラス2管を示す。

検査結果一覧表

成績書管理番号：01

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 9月27日 28日 29日	良	宇野 正登 平沢 淳	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：01

検査年月日：令和 3 年 9 月 27 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	(良)・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	(良)・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	(良)・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：01

検査年月日：令和3年9月27日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	(良)・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	(良)・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	(良)・一	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	(良)・一	

※立会については令和3年9月28日に実施

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：01

検査年月日：令和3年9月²⁷/₂₈日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設 換気設備 主配管 (1, 2号機共用) (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 耐圧検査 漏えい検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、 所定の性能を有しており、 技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-06-02-e (2) QSN1-1-06-02-e (3) ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査) (立会検査)

成績書管理番号: 0.1

検査年月日: 令和3年9月28日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
緊急時対策所加圧ライン ボンベラック恒設配管接続 フレキシブルホース 出口接続口 ～ 流量調整弁 (指揮所) 及び 緊急時対策所加圧ライン 緊急時対策棟 (指揮所) 出口取合点 (1, 2号機共用) (別添1参照)	外観検査	-	良	目視
	耐圧検査	別添2参照	良	目視
	漏えい検査	別添2参照	良	目視
	組立て及び据 付け状態を確 認する検査	-	良	目視
備考				

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 検査用計器一覧表

成績書管理番号：01

検査年月日：令和3年9月28日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査 漏えい検査	圧力計	4383403	0 ~ 2.5 MPa	±1.5%F. S.	2021.8.18 2021.11.17	
耐圧検査 漏えい検査	圧力計	4383402	0 ~ 2.5 MPa	±1.5%F. S.	2021.8.18 2021.11.17	
以下余白						

放射線管理施設
2 換気設備
(3) 主配管
・常設

変更前				変更後			
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材 料	材 料
換気設備	緊急時対策所非常用 空気浄化ファン ～ 緊急時対策所非常用 空気浄化フィルタユニット ～ 緊急時対策所非常用 空気浄化ライン 緊急時対策棟 (指揮所) 出口取合点 (1,2号機共用)	0.0054 <small>(注1)</small>	50 <small>(注1)</small>	318.5 <small>(注2)</small>	10.3 <small>(注2)</small>	SPTP370	SPTP370
				318.5 <small>(注2)</small>	10.3 <small>(注3)</small>	SPTP370	SPTP370
換気設備				306.0 <small>(注2)</small>	3.0 <small>(注2)</small>		
				456.0 <small>(注2)</small>	3.0 <small>(注2)</small>		
				456.0 <small>(注2)</small> / 556.0 <small>(注2)</small> × 556.0 <small>(注2)</small>	3.0 <small>(注2)</small> / 3.0 <small>(注2)</small>		SUS304
				530.0 <small>(注2)</small> × 280.0 <small>(注2)</small> / 556.0 <small>(注2)</small> × 556.0 <small>(注2)</small>	3.0 <small>(注2)</small> / 3.0 <small>(注2)</small>		SUS304
				556.0 <small>(注2)</small> × 556.0 <small>(注2)</small>	3.0 <small>(注2)</small>		SUS304
	(次頁へ続く)						

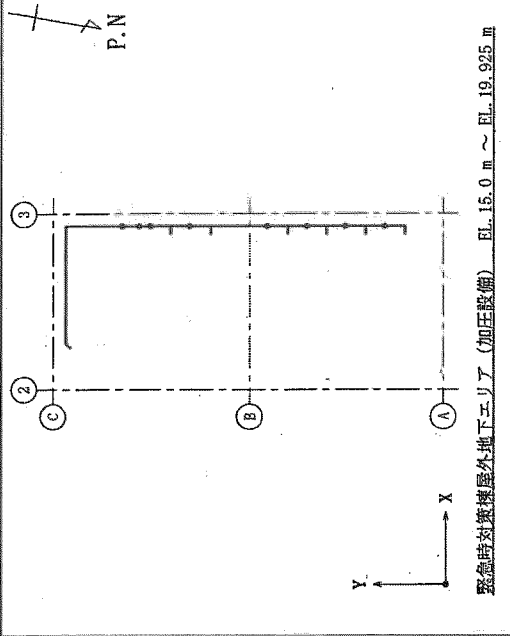
変更前						変更後							
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
								(前頁からの続き)			^(注2) 556.0 × 556.0 / 706.0 × 706.0	^(注2) 3.0 / 3.0	SUS304
									^(注1) 0.0054	^(注1) 50	^(注2) 556.0 × 556.0 / 906.0 × 906.0	^(注2) 3.0 / 3.0	SUS304
											^(注2) 27.2	^(注2) 2.5	SUS304TP
											^(注2) 60.5	^(注2) 3.5	SUS304TP
									^(注1) 0.99	^(注1) 40	^(注2) 89.1	^(注2) 4.0	SUS304TP
								緊急時対策所加圧ライン ボンベラック恒設配管接続 フレキシブルホース 出口接続口 ~ 流量調整弁 (指揮所) 及び 緊急時対策所加圧ライン 緊急時対策棟 (指揮所) 出口取合点 (1,2号機共用) (次頁へ続く)			^(注2) 60.5	^(注2) 3.5	SUS304TP
								換気設備					
								換気設備					

変更前					変更後								
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料
換気設備			—				(前頁からの続き)						
									(注1) 0.99	(注1) 40			SUS304TP
											(注2) 89.1	(注2) 4.0	
											(注2) 60.5	(注2) 3.5	
											／	／	
											27.2	2.5	
											(注2) 89.1	(注2) 4.0	
											／	／	
											60.5	3.5	
											(注2) 60.5	(注2) 3.5	
											／	／	
											60.5	3.5	
											(注2) 89.1	(注2) 4.0	
											／	／	
											89.1	4.0	
											(注2) 89.1	(注2) 4.0	
											／	／	
											89.1	4.0	
											(注2) 89.1	(注2) 4.0	
											／	／	
											89.1	4.0	

(注1) 重大事故等時における使用時の値。

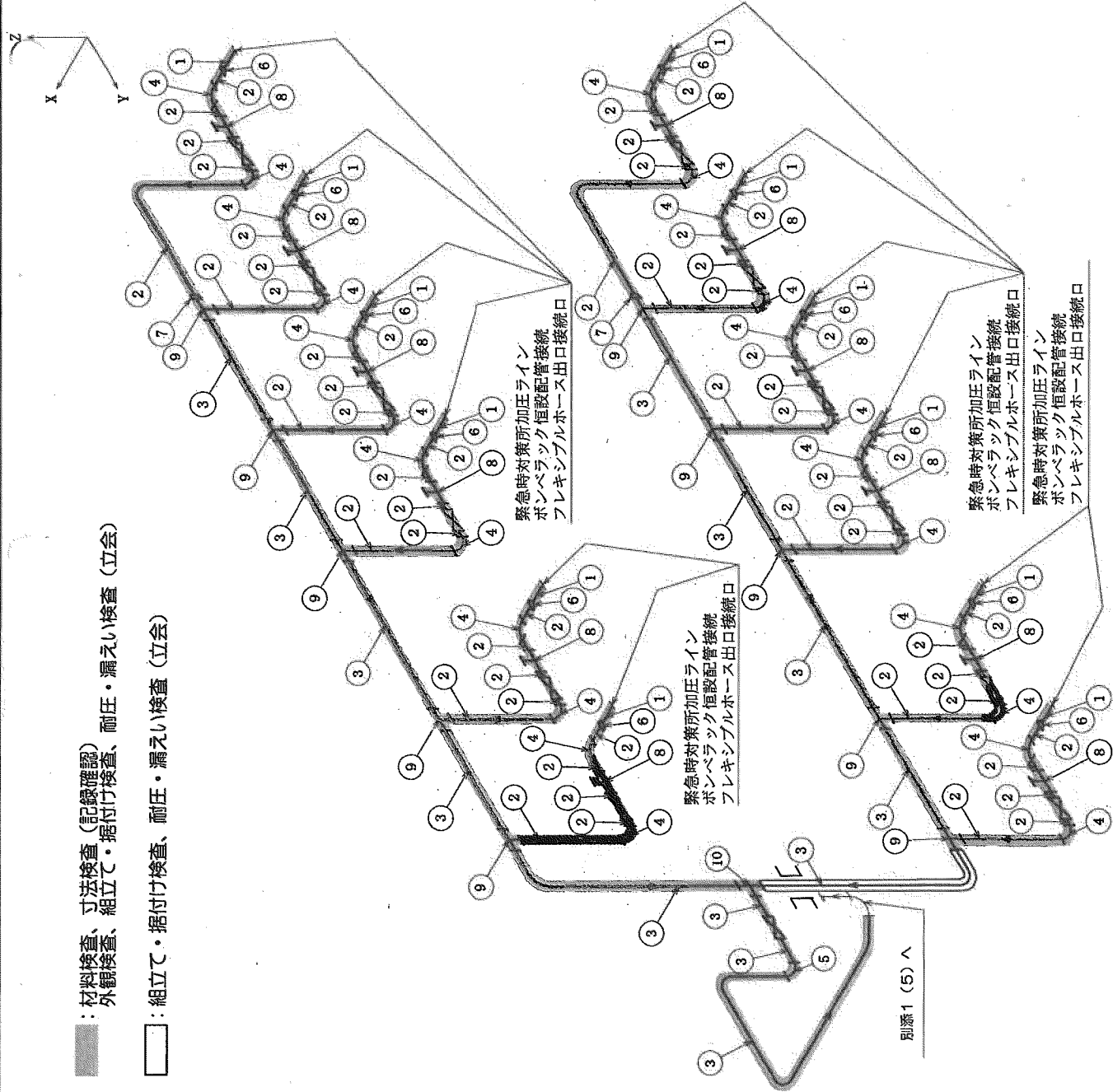
(注2) 公称値

(注3) エルゴを示す。

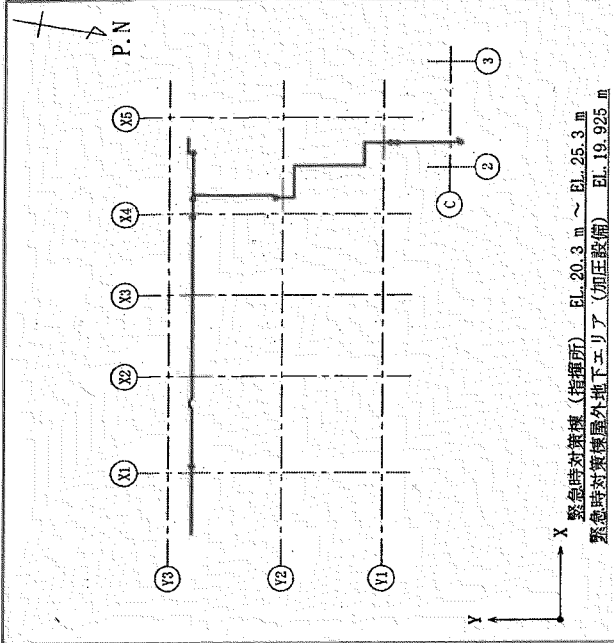


番号	管の設計仕様		材料
	外径 (mm)	厚さ (mm)	
1	27.2	2.5	SUS304TP
2	60.5	3.5	
3	89.1	4.0	
4	60.5	3.5	SUS304TP
5	89.1	4.0	
6	60.5	3.5	
7	27.2	2.5	
8	89.1	4.0	
9	60.5	3.5	
10	60.5	3.5	
9	89.1	4.0	SUS304TP
10	89.1	4.0	
10	89.1	4.0	

※1,2号機共用

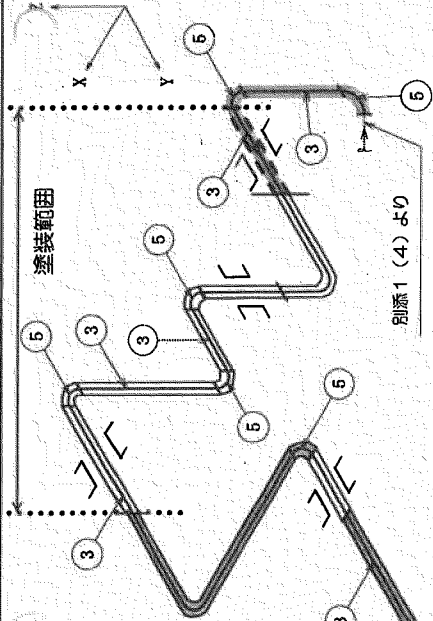


(注1) 管の設計仕様の番号とアイコン内○内の番号は一致する。
 (注2) 本図の範囲の配管はすべて重大事故等クラス2管を示す。

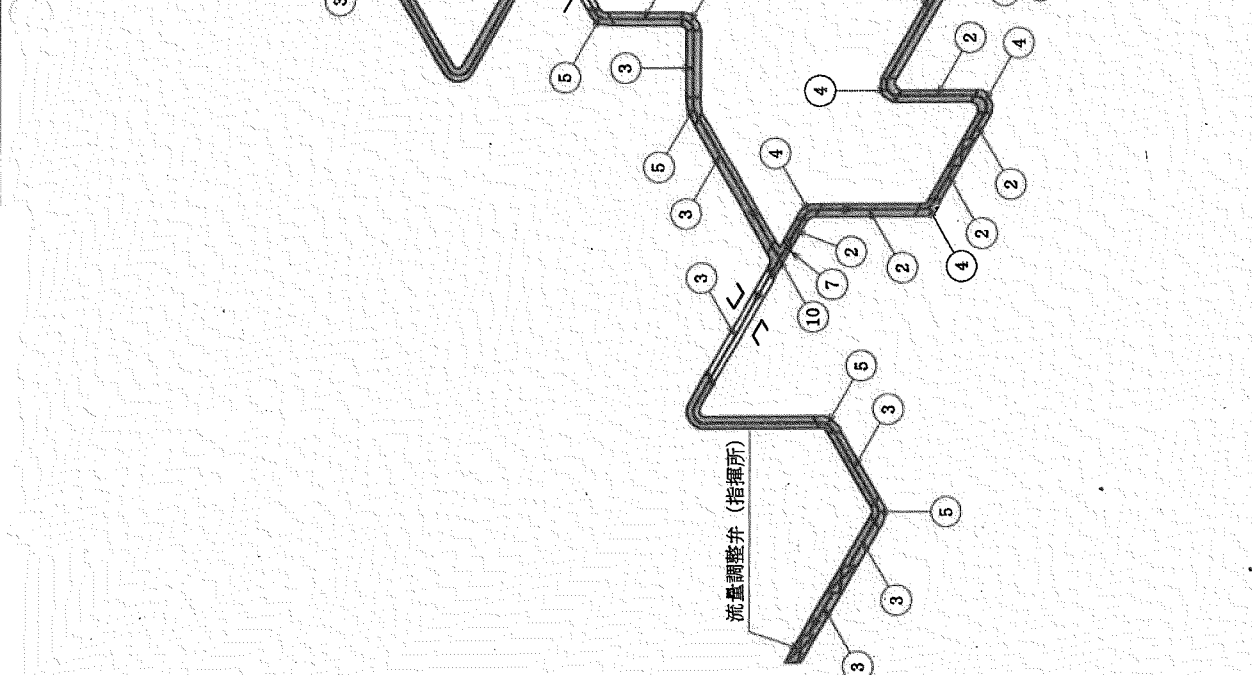


管の設計仕様			
番号	外径(mm)	厚さ(mm)	材料
2	60.5	3.5	SUS304TP
3	89.1	4.0	
4	60.5	3.5	
5	89.1	4.0	
7	89.1	4.0	
	60.5	3.5	SUS304TP
10	89.1	4.0	
	89.1	4.0	

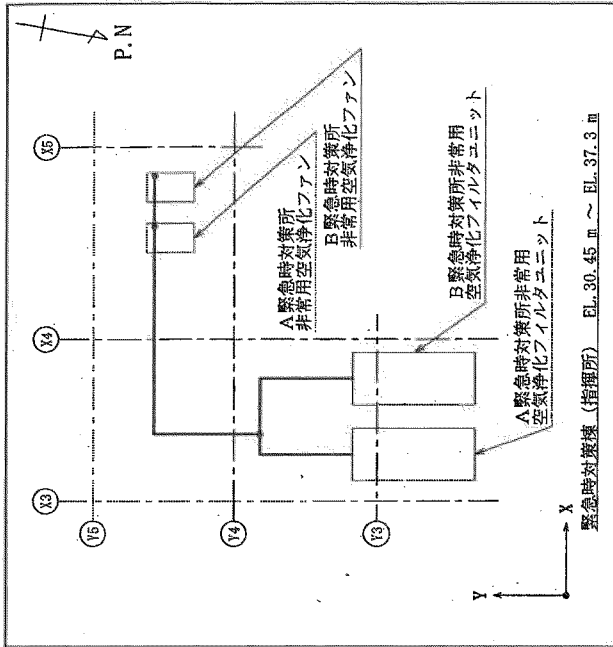
※1,2号機共用



- : 材料検査、寸法検査 (記録確認)
外観検査、組立て・据付け検査、耐圧・漏えい検査 (立会)
- : 材料検査、寸法検査、外観検査 (記録確認)
組立て・据付け検査、耐圧・漏えい検査 (立会)
- : 外観検査、組立て・据付け検査、耐圧・漏えい検査 (立会)
- : 外観検査 (記録確認)
組立て・据付け検査、耐圧・漏えい検査 (立会)



(注1) 管の設計仕様の番号とアイソメ図中○内の番号は一致する。
 (注2) 本図の範囲の配管はすべて重大事故等クラス2管を示す。



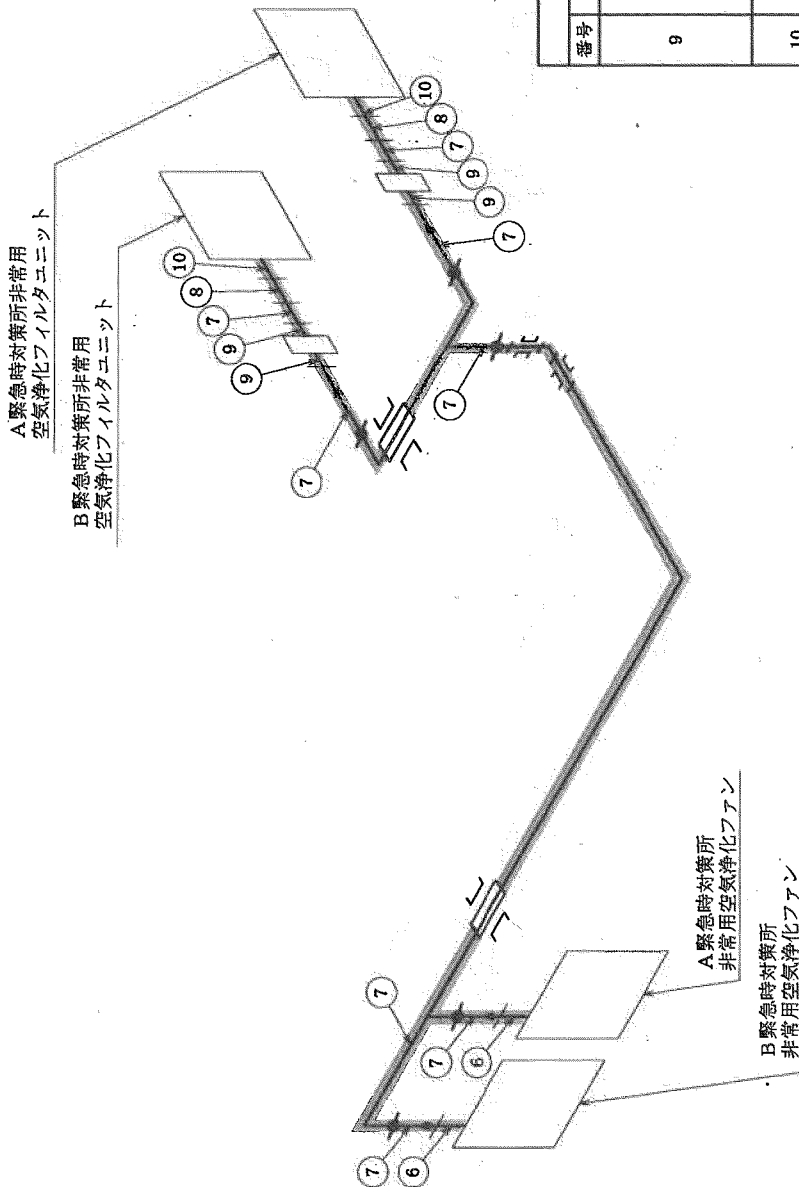
番号	管の設計仕様		材料
	外径(mm)	厚さ(mm)	
6	530.0	3.0	SUS304
	X 280.0	—	
	556.0	3.0	
7	556.0	3.0	SUS304
	X 556.0	—	
	556.0	3.0	
8	556.0	3.0	SUS304
	X 556.0	—	
	706.0	3.0	

番号	管の設計仕様		材料
	外径(mm)	厚さ(mm)	
9	556.0	3.0	SUS304
	X 556.0	—	
	906.0	3.0	
10	706.0	3.0	SUS304
	X 706.0	—	
	706.0	3.0	

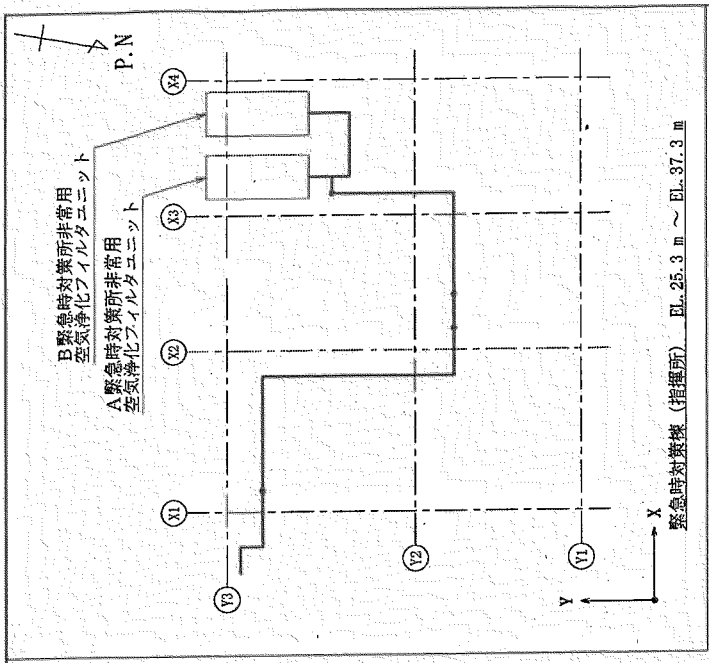
※1,2号機共用

□ : 組立て・据付け検査 (記録確認)

■ : 材料検査・寸法検査・外觀検査・組立て・据付け検査・漏えい検査 (記録確認)

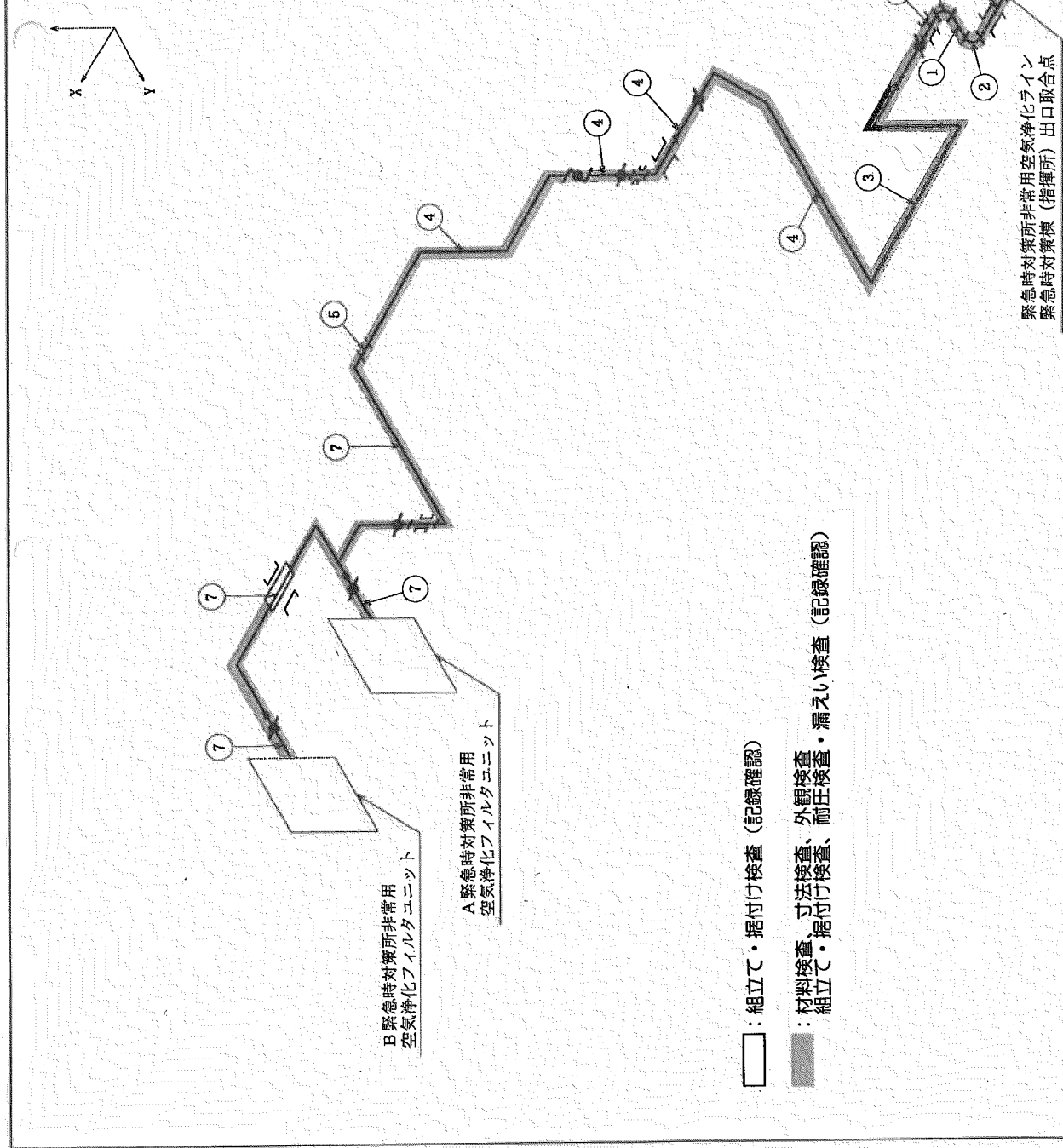


(注1) 管の設計仕様の番号とアイソメ図中○内の番号は一致する。
 (注2) 本図の範囲の配管はすべて重大事故等クラス2管を示す。



管の設計仕様		材料	
番号	外径 (mm)	厚さ (mm)	
1	318.5	10.3	STPT370
2	318.5	10.3	STPT370
3	306.0	3.0	SUS304
4	456.0	3.0	
5	456.0	3.0	SUS304
	556.0	3.0	
7	556.0	3.0	SUS304
	556.0	3.0	

※1,2 号機共用



緊急時対策所非常用空気浄化ライン
緊急時対策棟 (指運所) 出口取合点

- : 組立て・据付け検査 (記録確認)
- : 材料検査、寸法検査、外観検査、組立て・据付け検査、耐圧検査・漏えい検査 (記録確認)

(注1) 管の設計仕様の番号とアインメント図中の○内の番号は一致する。
(注2) 本図の範囲の配管はすべて重大事故等クラス2管を示す。

耐圧検査、漏えい検査記録

令和3年9月28日

設計結果		耐圧検査力 (MPa)	保持時間 (分)	漏えい検査力 (MPa)	検査結果	確認方法
名称	最高使用圧力 (MPa)					
緊急時対策所加圧ライン ボンベラック恒設配管接続 フレキシブルホース 出口接続口 ~ 流量調整弁（指揮所） 及び 緊急時対策所加圧ライン 緊急時対策棟（指揮所） 出口取合点 （1,2号機共用） ※（別添1参照）	0.99 ^{*1}	1.01	12	1.01	良	目視
備考 ※1：重大事故等時における使用時の値						

耐圧検査、漏えい検査要領図



検査範囲	
緊急時対策所加圧ライン	緊急時対策所加圧ライン
ボンベラック恒設配管接続	ボンベラック恒設配管接続
フレキシブルホース	フレキシブルホース
出口接続口※1	出口接続口※1
流量調整弁(指揮所)※2	流量調整弁(指揮所)※2
及び	及び
緊急時対策所加圧ライン	緊急時対策所加圧ライン
緊急時対策棟(指揮所)	緊急時対策棟(指揮所)
出口取合点※3	出口取合点※3
(1,2号機共用)	(1,2号機共用)

換気設備
主配管

要領図要目

- : 耐圧検査、漏えい検査範囲 (要目表対象設備) を示す。
- : 耐圧検査、漏えい検査範囲を示す。
- - - : 耐圧検査、漏えい検査範囲外 (加圧範囲外) を示す。
- : 耐圧検査、漏えい検査仮配管を示す。
- : 耐圧検査、漏えい検査時開弁を示す。
- : 耐圧検査、漏えい検査時閉弁を示す。
- : 昇圧用N2ボンベを示す。
- : 耐圧検査、漏えい検査用圧力計を示す。
- : 装置内圧力計を示す。
- : 仮閉止板を示す。
- : 耐圧検査時、ギャグを取付ける。

水圧・気圧の区分	気圧
耐圧検査、漏えい検査圧力	0.99 MPa(0.99 MPa×1.0)以上

検査結果一覧表

成績書管理番号：01

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
<p>令和3年 10月14日</p>	<p>良</p>	<p>吉村直樹 平塚 浩</p>	<p>発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]</p>	<p>なし</p>

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：01

検査年月日：令和3年10月14日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号: 01

検査年月日: 令和3年10月14日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：01

検査年月日：令和3年10月14日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設 換気設備 フィルター (1, 2号機共用) (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-06-02-g ・目視確認(範囲)：添付資料3-3参照 2021.11.08 追記 平沢 淳			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査) (立会検査)

成績書管理番号: 01

検査年月日: 令和 3年 10月 14日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
放射線管理施設 換気設備 フィルター (1, 2号機共用)	外観検査 組立て及び据付け状 態を確認する検査	-	良	目視 ^{*1}
備考				
※1: B緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニットについて目視検査を実施した。				

放射線管理施設
2・換気設備

(6) フィルター（公衆の放射線障害の防止及び中央制御室の従事者等の放射線防護を目的として設置するものに限る。）の名称、種類、効率、主要寸法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

名称		変更前		変更後	
種別	種類	称		称	
		効	(注1) 単体除去効率	微粒子フィルタ	緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット (1,2号機共用)
率	(注1) 総合除去効率	%	よう素フィルタ	99.97 以上 (0.15 μm 粒子)	よう素フィルタ
		%	微粒子フィルタ	95 以上 (有機よう素) 99 以上 (無機よう素) (相対湿度95%、温度30℃において)	99.99 以上 (注2) (0.7 μm 粒子)
主要寸法	吸込径	mm	よう素フィルタ	99.75 以上 (有機よう素) (注2) 99.99 以上 (無機よう素) (注2) (相対湿度95%、温度30℃において)	708×708 (注3)
		mm	微粒子フィルタ	708×708 (注3)	558×558 (注3)
個	吐出横	mm	微粒子フィルタ	2,279 (注3)	2
		mm	よう素フィルタ	5,709 (注3)	5,709 (注3)
取付箇所	高さ	mm	微粒子フィルタ	1,689 (注3)	1,689 (注3)
		mm	よう素フィルタ	1,689 (注3)	1,689 (注3)
取付箇所	系統名	名	A 緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット A 緊急時対策所非常用空気浄化ライン	B 緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット B 緊急時対策所非常用空気浄化ライン	B 緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット B 緊急時対策所非常用空気浄化ライン
		床	緊急時対策棟 (指揮所) 屋上 EL.37.3m	緊急時対策棟 (指揮所) 屋上 EL.37.3m	緊急時対策棟 (指揮所) 屋上 EL.37.3m
取付箇所	溢水防護上の区画番号	区画番号	緊急時対策棟 (指揮所) 屋上 EL.37.3m	緊急時対策棟 (指揮所) 屋上 EL.37.3m	緊急時対策棟 (指揮所) 屋上 EL.37.3m
		高さ	緊急時対策棟 (指揮所) 屋上 EL.37.3m	緊急時対策棟 (指揮所) 屋上 EL.37.3m	緊急時対策棟 (指揮所) 屋上 EL.37.3m

(注1) 重大事故等時における使用時の値。

(注2) フィルタ2段

(注3) 公称値

検査結果一覧表

成績書管理番号：01

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
<p>令和3年 10月19日</p>	<p>良</p>	<p>須貝 実 平沢 淳</p>	<p>発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]</p>	<p>なし</p>

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：01

検査年月日： 令和3年 10月 19日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎ 良 —	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎ 良 —	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎ 良 —	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号: 01

検査年月日: 令和3年10月19日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・⊖	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録（一号検査）

成績書管理番号：01

検査年月日：令和3年10月19日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設			
換気設備			
送風機			
緊急時対策所非常用空気浄化ファン（1, 2号機共用）（別添1参照）			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-06-02-h ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査) (立会検査)

成績書管理番号：01

検査年月日：令和3年10月19日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
A緊急時対策所非常用 空気浄化ファン	外観検査	—	良	目視
	組立て及び据付け状態 を確認する検査	—	良	目視
備考				

放射線管理施設
2 換気設備

(4) 送風機の名称、種類、容量、主要寸法、種類、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）並びに設計上の空気の流入率

・常設

名称		変更前		変更後	
種別	—	緊急時対策所非常用空気浄化ファン (1,2号機共用)			
容量	m ³ /min/個	[] 以上 (注2)			
送風機	吸込内径	mm	545 (注2)		
	吐出内径	mm	521×268 (注2)		
	たて	mm	1,610 (注2)		
	横	mm	2,185 (注2)		
	高さ	mm	1,850 (注2)		
個数	—	2			
取付箇所	系統名	—	A緊急時対策所非常用空気浄化ファン A緊急時対策所非常用空気浄化ライン	B緊急時対策所非常用空気浄化ファン B緊急時対策所非常用空気浄化ライン	
	設置床	—	緊急時対策棟 (指挿所) 地上2階 EL.30.45m	緊急時対策棟 (指挿所) 地上2階 EL.30.45m	
	溢水防護上の区画番号	—	12T-B-9	12T-B-9	
原動機	溢水防護上の高さ	—	EL.30.55m以上	EL.30.55m以上	
	種類	—	三相誘導電動機		
出力	kW/個	18.5			
個数	—	2			
取付箇所	—	送風機と同じ			
設計上の空気の流入率	回/h	— (注3)			

(注1) 重大事故等時における使用時の値。

(注2) 公称値

(注3) 正圧管理

[] : 検査対象範囲

九州電力株式会社
川内原子力発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003197号99

成績書管理番号：02

令和3年10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：02

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年7月20日
至 令和3年10月20日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録




検査申請一覧表

検査申請書番号	原発本第224号（令和2年3月19日）
（申請年月日）	原発本第26号（令和2年4月7日）
	原発本第108号（令和3年9月30日）

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：02

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 7月20日	良	雑賀康正 	発電用原子炉主任技術者  ボイラー・タービン主任技術者 	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：02

検査年月日 令和 2 年 7 月 20 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年7月20日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・一	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・一	
システム構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・一	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年7月20日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設 生体遮蔽装置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所(指揮所))(1,2号機共用)(別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	(目視) (記録確認)
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 <li style="padding-left: 20px;">※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-06-03-c ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ・記録で確認した範囲：①1F床部(仮開口部除く)、②1F壁(1工区S1-W-1-2) <p>記録確認項目は以下のとおり</p> <p>材料検査</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> ① ① ① ① ① </div> <p> <input checked="" type="checkbox"/> セメント、<input checked="" type="checkbox"/> 骨材、<input checked="" type="checkbox"/> 練混ぜ水、<input checked="" type="checkbox"/> 混和剤、<input checked="" type="checkbox"/> フレッシュコンクリートの性状 <input type="checkbox"/> 構造体コンクリートの圧縮強度、<input type="checkbox"/> アルカリシリカ反応性 <input type="checkbox"/> 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量 確認した比重の最小値 () <input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋^{①②} <input checked="" type="checkbox"/> 機械式継手材、<input checked="" type="checkbox"/> 機械式定着材^{①②} </p> <p>寸法検査</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 5px;"> ① ① ① </div> <p><input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋の組立精度等、<input checked="" type="checkbox"/> 型枠の組立精度等、<input checked="" type="checkbox"/> 寸法</p> <p>外観検査 ①のうち、1F床上面について確認</p>			

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機
使用前検査記録 (一号検査) (立会検査)

成績書管理番号：02

検査年月日： 令和 2 年 7 月 20 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
生体遮蔽装置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所 (指揮所)) (1, 2 号機共用) 別添 2 参照	寸法検査	—	良	目視
備考 確認範囲：1F 壁 (1 工区 S1-W-1-2) 確認項目：以下のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋の組立精度等 (鉄筋のかぶり厚さ及び定着長さを除く) <input type="checkbox"/> 型枠の組立精度等 <input type="checkbox"/> 寸法				

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 検査用計器一覧表


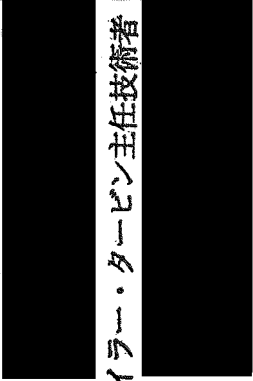

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年7月20日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	鋼製巻尺	134	0~5.5m	±0.8mm	2020年1月14日 2021年1月13日	
以下余白						

検査結果一覧表

成績書管理番号：02

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 8月6日	良	 上田 洋	発電用原子炉主任技術者  ボイラー・タービン主任技術者 	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：02

検査年月日 令和 2 年 8 月 5 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号: 02

検査年月日: 令和2年 8月 5日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日： 令和2年8月5日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設 生体遮蔽装置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所(指揮所)) (1,2号機共用) (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-06-03-c ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ・記録で確認した範囲：①1F床部(仮開口部除く)、②1F壁(1工区S1-W-1-2) <p>記録確認項目は以下のとおり</p> <p>材料検査</p> <p><input type="checkbox"/> セメント、<input type="checkbox"/> 骨材、<input type="checkbox"/> 練混ぜ水、<input type="checkbox"/> 混和剤、<input type="checkbox"/> フレッシュコンクリートの性状</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 構造体コンクリートの圧縮強度 ①、<input type="checkbox"/> アルカリシリカ反応性</p> <p><input type="checkbox"/> 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量 確認した比重の最小値 ()</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋 ②</p> <p><input type="checkbox"/> 機械式継手材、<input type="checkbox"/> 機械式定着材</p> <p>寸法検査</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄筋の組立精度等、<input type="checkbox"/> 型枠の組立精度等、<input type="checkbox"/> 寸法</p>			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査) (立会検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年8月6日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
生体遮蔽装置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所 (指揮所)) (1, 2号機共用) (別添2参照)	材料検査	—	良	目視
<p>備考</p> <p>確認範囲：1F壁 (1工区 S1-W-1-2)</p> <p>確認項目：以下のとおり</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> フレッシュコンクリートの性状 (全3回のうち1回目について確認)</p> <p><input type="checkbox"/> 構造体コンクリートの圧縮強度</p>				

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 (一号検査) (立会検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和 2 年 8 月 5 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
生体遮蔽装置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所 (指揮所)) (1, 2 号機共用) (別添 2 参照)	寸法検査	-	良	目視
備考 確認範囲：1 F 壁 (1 工区 S1-W-1-2) 確認項目：以下のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋の組立精度等 (鉄筋のかぶり厚さ及び鉄筋の定着長さ) <input checked="" type="checkbox"/> 型枠の組立精度等 <input type="checkbox"/> 寸法				

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 検査用計器一覧表

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年8月5日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	鋼製巻尺	134	0~5.5m	±0.8mm	2020年1月14日 2021年1月13日	
材料検査	検尺	No. 5	0~259mm	±2.0mm	2020年5月18日 2021年5月17日	
材料検査	エアメータ ー	No. 5	0~10%	±0.1%	2020年6月3日 2020年9月2日	
材料検査	棒状温度計	No. 20	0~50℃	±1℃	2020年5月18日 2021年5月17日	
材料検査	塩化物量測 定器	TW1705029	0.001~ 3.000%	基準値に対し て±10%以内	2020年5月1日 2021年4月30日	
材料検査	電子式非自 動はかり	170960018	0~ 30000g	計量法精度等 級2級規格値	2020年4月2日 2021年4月1日	
以下余白						

検査結果一覧表

成績書管理番号：02

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 9月23日	良	大江 勇人 [Redacted]	発電用原子炉主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：02

検査年月日 令和 2 年 9 月 23 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和 2 年 9 月 2、3 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	◎・◎	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号: 02

検査年月日: 令和2年9月3日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設 生体遮蔽装置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所(指揮所)) (1,2号機共用) (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号: ・目視で確認した範囲: 添付資料3-3参照			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査) (立会検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年9月3日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
生体遮蔽装置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所 (指揮所)) (1, 2号機共用) (別添2参照)	材料検査	—	良	目視
<p>備考</p> <p>確認範囲：1階壁 (1工区 S1-W-1-2)</p> <p>確認項目：以下のとおり</p> <p><input type="checkbox"/> フレッシュコンクリートの性状</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 構造体コンクリートの圧縮強度 (全3回のうち、1回目の供試体番号 1-1-1, 1-1-2, 1-1-3について確認)</p>				

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査) (立会検査)

成績書管理番号: 02

検査年月日: 令和2年9月3日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
生体遮蔽装置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所 (指揮所)) (1, 2号機共用) (別添2参照)	寸法検査	701 mm	良	目視
備考 確認範囲: 1階壁 (1工区 S1-W-1-2) 確認項目: 以下のとおり <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立精度等 <input type="checkbox"/> 型枠の組立精度等 <input checked="" type="checkbox"/> 寸法 (別添1, 2参照)				

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 検査用計器一覧表

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年9月23日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	鋼製巻尺	134	0~5.5m	±0.8mm	2020年1月14日 2021年1月13日	
材料検査	一軸試験機 (圧縮試験機)	10443	0~1000kN	JIS B7721 1級規格値	2020年5月10日 2021年5月9日	
材料検査	ノギス	0013776	0~300mm	±0.04mm	2020年3月26日 2021年3月25日	
以下余白						

検査結果一覧表

成績書管理番号：02

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和2年 12月23日	良	平川 圭司	発電用原子炉主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：02

検査年月日 令和2年12月23日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	良・一	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号: 02

検査年月日: 令和2年12月23日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・-	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・-	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・-	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・☺	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年12月23日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設 生体遮蔽装置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所(指揮所))(1,2号機共用) (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-06-03-c ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ・記録で確認した範囲： <ul style="list-style-type: none"> ① 1F壁(1工区、2工区)、1F天井(1工区、2工区)、遮蔽体 ② 1F壁(1工区(S1-W-1-2を除く)、2工区)、1F天井(1工区、2工区)、遮蔽体 <p>記録確認項目は以下のとおり</p> <p>材料検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ① <input checked="" type="checkbox"/> セメント、<input checked="" type="checkbox"/> 骨材、<input checked="" type="checkbox"/> 練混ぜ水、<input checked="" type="checkbox"/> 混和剤、<input checked="" type="checkbox"/> フレッシュコンクリートの性状 ① <input checked="" type="checkbox"/> 構造体コンクリートの圧縮強度、<input type="checkbox"/> アルカリシリカ反応性 <input type="checkbox"/> 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量 確認した比重の最小値() ① <input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋 ① <input checked="" type="checkbox"/> 機械式継手材、<input checked="" type="checkbox"/> 機械式定着材 <p>寸法検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ② <input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋の組立精度等、<input checked="" type="checkbox"/> 型枠の組立精度等、<input checked="" type="checkbox"/> 寸法 			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査) (立会検査)

成績書管理番号: 02

検査年月日: 令和2年12月23日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

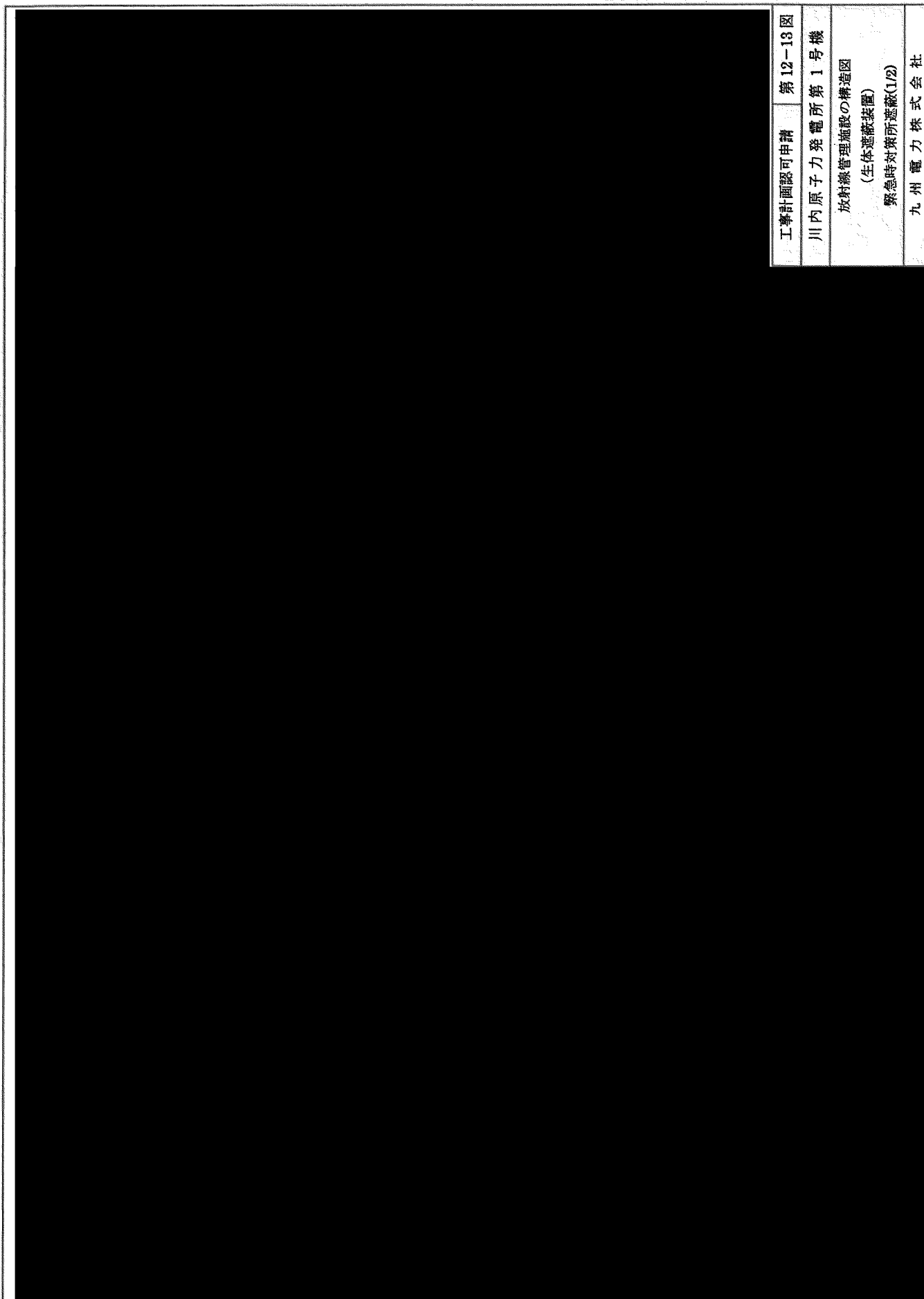
検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
生体遮蔽装置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所 (指揮所)) (1, 2号機共用) (別添2参照)	外観検査	-	良	目視
備考 確認範囲: 1F壁 (1工区 S1-W-1-2)				

3 生体遮蔽装置（一次遮蔽、二次遮蔽、補助遮蔽、中央制御室遮蔽、外部遮蔽並びに緊急時制御室及び緊急時対策所において従事者等の放射線防護を目的として設置するものに限る。使用済燃料運搬用容器の放射線遮蔽材、使用済燃料貯蔵用容器の放射線遮蔽材、放射性廃棄物運搬用容器の放射線遮蔽材及び一時的に設置するものを除く。）の名称、種類、主要寸法、冷却方法及び材料

変 更 前				変 更 後					
名 種	称 類	主要寸法 (最小厚さ) (mm)	冷却方法	材	料	名 種	称 類		
生 体 遮 蔽 装 置	生 体 遮 蔽 装 置 (緊急時対策所(指揮所) (1,2号機共用))	—	—	—	—	壁	鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)		
						天井	鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)		
						床	鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)		
						遮蔽体	鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)		
						主要寸法 (最小厚さ) (mm)	冷却方法	材	料
						695 (700 ^(注1))	自然冷却	鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)	
						695 (700 ^(注1))	自然冷却	鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)	
						695 (700 ^(注1))	自然冷却	鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)	
						695 (700 ^(注1))	自然冷却	鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)	

(注1) 公称値



工事計画認可申請	第12-13図
川内原子力発電所第1号機	
放射線管理施設の構造図 (生体遮蔽装置)	
緊急時対策所蔵(1/2)	
九州電力株式会社	

検査結果一覧表

成績書管理番号：02

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和3年 4月21日	良	雅賀 康正 吉村 直樹	発電用原子炉主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：02

検査年月日 令和 3 年 4 月 21 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和3年4月21日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和3年4月21日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設 生体遮蔽装置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所(指揮所)) (1, 2号機共用) (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 5px;">記録確認</div>
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-06-03-c ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ・記録で確認した範囲：① 1F壁(3I区、4I区)、1F天井(3I区、4I区)、仮開口部を除く ② 1I区から4I区の1F床(上面及び仮開口部を除く)、1F壁(1I区S1-W-1-2及び仮開口部を除く)、1F天井、遮蔽体 <p>記録確認項目は以下のとおり。</p> <p>材料検査</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> セメント^①、<input checked="" type="checkbox"/> 骨材^①、<input checked="" type="checkbox"/> 練混ぜ水^①、<input checked="" type="checkbox"/> 混和剤^①、<input checked="" type="checkbox"/> フレッシュコンクリートの性状^① <input checked="" type="checkbox"/> 構造体コンクリートの圧縮強度^①、<input type="checkbox"/> アルカリシリカ反応性 <input type="checkbox"/> 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量 確認した比重の最小値() <input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋^① <input checked="" type="checkbox"/> 機械式継手材^①、<input checked="" type="checkbox"/> 機械式定着材^① </p> <p>寸法検査</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋の組立精度等^①、<input checked="" type="checkbox"/> 型枠の組立精度等^①、<input checked="" type="checkbox"/> 寸法^① </p> <p>外観検査^②</p>			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査) (立会検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和3年4月21日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
生体遮蔽装置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所(指揮所)) (1,2号機共用) (別添2参照)	組立て及び据付け 状態を確認する検 査	-	良	目視

備考

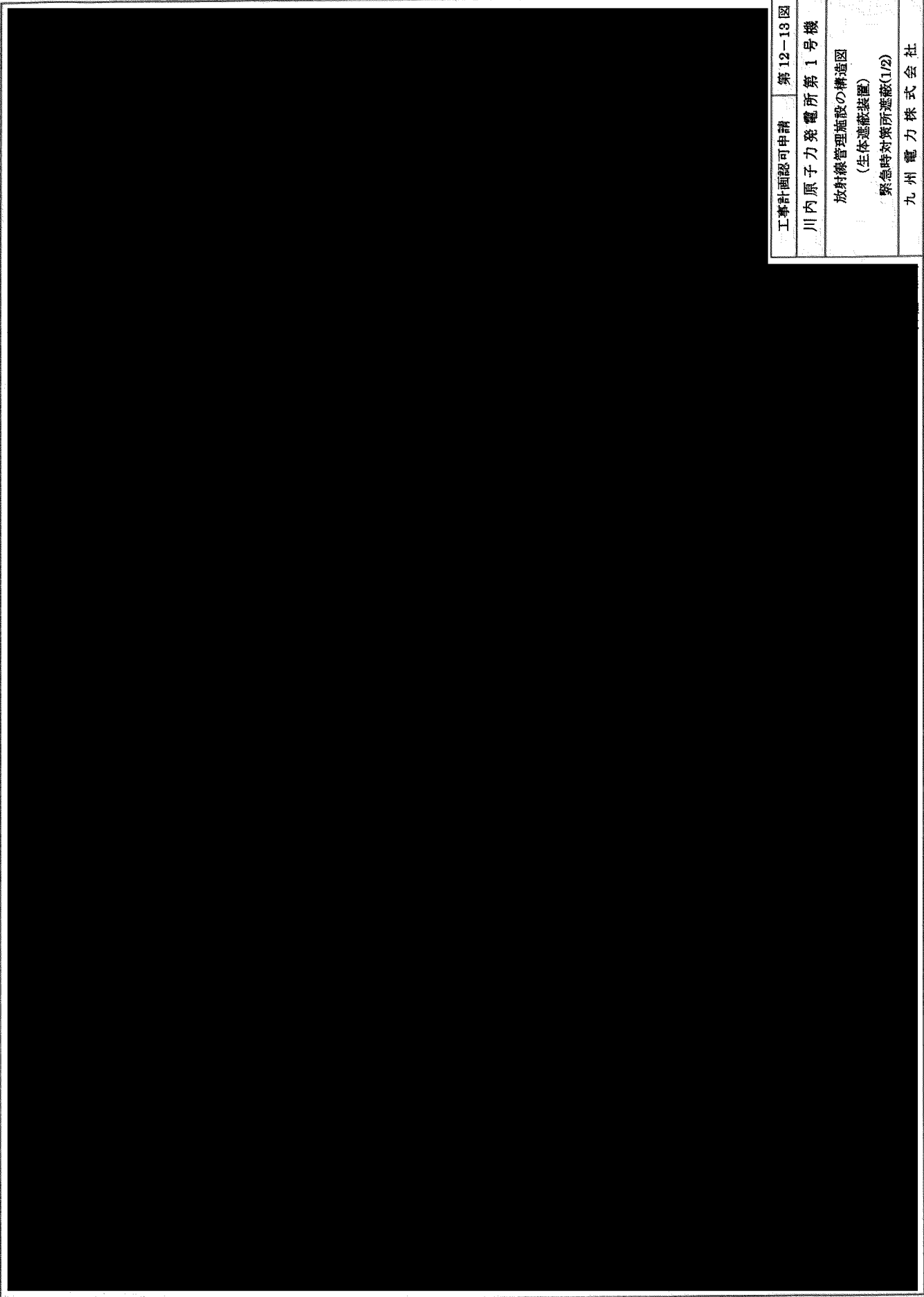
確認範囲：1I区から4I区の1F床(仮開口部を除く)、1F壁(仮開口部を除く)、1F天井、遮蔽体

放射線管理施設

3 生体遮蔽装置（一次遮蔽、二次遮蔽、補助遮蔽、中央制御室遮蔽、外部遮蔽並びに緊急時制御室及び緊急時対策室において従事者等の放射線防護を目的として設置するものに限る。使用済燃料運搬用容器の放射線遮蔽材、使用済燃料貯蔵用容器の放射線遮蔽材、放射性廃棄物運搬用容器の放射線遮蔽材及び一時的に設置するものを除く。）の名称、種類、主要寸法、冷却方法及び材料

変 更 前				変 更 後			
名 種	称 類	主要寸法 (最小厚さ) (mm)	冷却方法	材	料	称 類	主要寸法 (最小厚さ) (mm)
生 体 遮 蔽 装 置	生 体 遮 蔽 装 置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所(指揮所)) (1,2号機共用)	—	—	—	—	壁	695 (700 ^(注1))
						天井	695 (700 ^(注1))
						床	695 (700 ^(注1))
						遮蔽体	695 (700 ^(注1))

(注1) 公称値



工事計画認可申請	第12-13図
川内原子力発電所第1号機	
放射線管理施設の構造図 (生体遮蔽装置) 緊急時対策所遮蔽(1/2)	
九州電力株式会社	

検査結果一覧表

成績書管理番号：02

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
<p>令和3年 10月20日</p>	<p>良</p>	<p>須貝 実 平沢 淳</p>	<p>発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]</p>	<p>なし</p>

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：02

検査年月日 令和3年10月20日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号: 02

検査年月日: 令和3年10月20日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和3年10月20日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設			
生体遮蔽装置			
緊急時対策所遮蔽			
(緊急時対策所(指揮所))(1,2号機共用)		(別添1参照)	
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-06-03-c ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ・記録で確認した範囲：①1F床(仮開口部)、②1F壁(仮開口部) 			
記録確認項目は以下のとおり			
材料検査			
<input checked="" type="checkbox"/> セメント、 <input checked="" type="checkbox"/> 骨材、 <input checked="" type="checkbox"/> 練混ぜ水、 <input checked="" type="checkbox"/> 混和剤、 <input checked="" type="checkbox"/> フレッシュコンクリートの性状 <input checked="" type="checkbox"/> 構造体コンクリートの圧縮強度、 <input type="checkbox"/> アルカリシリカ反応性※ <input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋 <input checked="" type="checkbox"/> 機械式継手材、 <input type="checkbox"/> 機械式定着材			
寸法検査			
<input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋の組立精度等、 <input checked="" type="checkbox"/> 型枠の組立精度等、 <input checked="" type="checkbox"/> 寸法			
外観検査			
組立て及び据付け状態を確認する検査			
※：対象外であることを確認			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和3年10月20日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設 生体遮蔽装置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所(指揮所))(1,2号機共用) (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
材料検査 寸法検査 外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 <u>記録確認</u>
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-06-03-c ・目視で確認した範囲： 添付資料3-3参照 ・記録で確認した範囲：①1F壁、②1F天井、③1F床、④遮蔽体 記録確認項目は以下のとおり 材料検査 <input checked="" type="checkbox"/> 遮蔽コンクリートの乾燥単位容積質量 確認した比重の最小値(2.318)			

放射線管理施設

3 生体遮蔽装置（一次遮蔽、二次遮蔽、補助遮蔽、中央制御室遮蔽、外部遮蔽並びに緊急時対策室及び緊急時対策所において従事者等の放射線防護を目的として設置するものに限る。使用済燃料運搬用容器の放射線遮蔽材、使用済燃料貯蔵用容器の放射線遮蔽材、放射性廃棄物運搬用容器の放射線遮蔽材及び一時的に設置するものを除く。）の名称、種類、主要寸法、冷却方法及び材料

変 更 前				変 更 後			
名 種	称 類	主要寸法 (最小厚さ) (mm)	冷却方法	材	料	称 類	主要寸法 (最小厚さ) (mm)
生 体 遮 蔽 装 置	緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所(指揮所)) (1,2号機共用)	-	-			壁	695 (700 ^(注1))
						天井	695 (700 ^(注1))
						床	695 (700 ^(注1))
						遮蔽体	695 (700 ^(注1))
						鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)	鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)
						鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)	鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)
						鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)	鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)
						鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)	鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)

(注1) 公称値

: 検査対象範囲

九州電力株式会社
川内原子力発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003197号99

成績書管理番号：19

令和3年9月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：19

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年9月29日
至 令和3年9月30日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原発本第224号 (令和2年3月19日) 原発本第26号 (令和2年4月7日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：19

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 9月29日 30	良	守野 正登 平塚 淳	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：19

検査年月日：令和 3 年 9 月 29 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎ 良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎ 良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎ 良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号: 19

検査年月日: 令和 3 年 9 月 29 日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (一号検査)

成績書管理番号：19

検査年月日：令和3年9月29日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設			
換気設備			
主配管	支持構造物	(別添1参照)	
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
組立て及び据付け状態を確認する検査 (配管支持構造物)	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; margin: 5px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 30px; height: 30px; margin: 5px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">記録確認</div>
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-1-90-01-c(1) ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (一号検査) (立会検査)

成績書管理番号: 19

検査年月日: 令和 3 年 9 月 30 日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
放射線管理施設 換気設備 主配管 (配管支持構造物)	組立て及び据付け状態を確認する検査	—	良	目視
<p>備考</p> <p>検査対象設備のうち、目視にて確認した支持構造物は、別添1のとおり。</p>				

九州電力(株)川内原子力発電所 1号機

緊急時対策棟設置工事 4B以上配管(ダクト)支持構造物リスト(1/2)

施設区分	設備区分	設備名称	配管口径	サポートNo.	確認日	備考
放射線管理施設	換気設備	緊急時対策所 非常用空気浄化 ファン ～ 緊急時対策所 非常用空気浄化 フィルタユニット ～ 緊急時対策所 非常用空気浄化 ライン 緊急時対策棟 (指揮所) 出口取合点 (1,2号機共用)	556.0 ×	D-D-VS-524A	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-2022/9	令和3年9月30日	
				D-D-VS-524B	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-2070	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-2022/13	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-2022/5	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-2072	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-0132	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-0133	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-2023	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-0134	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-2024	令和3年9月30日	
				D-ZG03A-0085	令和3年9月30日	
				D-ZG03A-0083	令和3年9月30日	
				D-D-VS-501A	令和3年9月30日	
				D-ZG03A-2019	令和3年9月30日	
				D-ZG03A-0082/3	令和3年9月30日	
				D-ZG03A-0082/1	令和3年9月30日	
				D-D-VS-501B	令和3年9月30日	
				D-D-VS-502A	令和3年9月30日	
				D-ZG03A-0091	令和3年9月30日	
				D-D-VS-502B	令和3年9月30日	
				D-ZG03A-0093	令和3年9月30日	
				D-ZG03A-2014	令和3年9月30日	
				D-ZG03A-0092/1	令和3年9月30日	
				D-ZG03A-0092/2	令和3年9月30日	
				D-ZG03A-2015	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-0025	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-0026	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-2123	令和3年9月30日	
D-D-VS-503	令和3年9月30日					
D-ZF03A-0022	令和3年9月30日					

九州電力(株)川内原子力発電所 1号機

緊急時対策棟設置工事 4B以上配管(ダクト)支持構造物リスト(2/2)

施設区分	設備区分	設備名称	配管口径	サポートNo.	確認日	備考
放射線管理施設	換気設備	緊急時対策所 非常用空気浄化 ファン ～ 緊急時対策所 非常用空気浄化 フィルタユニット ～ 緊急時対策所 非常用空気浄化 ライン 緊急時対策棟 (指揮所) 出口取合点 (1,2号機共用)	φ456.0	D-ZF03A-2033	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-0024	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-2032	令和3年9月30日	
				D-ZF03A-0029	令和3年9月30日	
				D-V-VS-502	令和3年9月30日	
				D-ZE03A-0001	令和3年9月30日	
				D-ZE03A-2001	令和3年9月30日	
				D-ZE03A-0002	令和3年9月30日	
				D-ZE03A-0003	令和3年9月30日	
				D-ZE03A-2002	令和3年9月30日	
				D-ZE03A-0012	令和3年9月30日	
				D-ZE03A-0004	令和3年9月30日	
			D-ZE03A-0005/6	令和3年9月30日		
			D-ZE03A-0005/1	令和3年9月30日		
			φ306.0	D-ZE03A-0061	令和3年9月30日	
				D-ZE03A-2011	令和3年9月30日	
				D-ZE03A-2012	令和3年9月30日	
			12B	P-ZE03A-0280	令和3年9月30日	
P-ZE03A-0281	令和3年9月30日					
P-ZE03A-0282	令和3年9月30日					

九州電力株式会社
川内原子力発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003197号99
成績書管理番号：20

令和3年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：20

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年11月10日
至 令和3年11月10日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原発本第224号(令和2年3月19日) 原発本第26号(令和2年4月7日) 原発本第108号(令和3年9月30日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：20

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 11月10日	良	種市 隆人 須貝 実	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：20

検査年月日：令和3年 11月 10日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・一	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・一	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・一	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：20

検査年月日：令和3年 11月 10日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 ◎記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：20

検査年月日：令和3年 11月 10日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
計測制御系統施設 発電用原子炉の運転を管理するための制御装置 中央制御室機能及び中央制御室外原子炉停止機能 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 機能確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-5-04-11-a ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査) (立会検査)

成績書管理番号：20

検査年月日：令和3年 11月 10日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
中央制御室機能	系統機能検査 機能確認検査	緊急時対策所（指揮所）にて緊急時対策に必要な情報について運転員を介さずともSPDSデータ表示端末により確認できること。	良	目視
備考				

計測制御系統施設

発電用原子炉の運転を管理するための制御装置に係るものにあつては次の事項

2 中央制御室機能及び中央制御室外原子炉停止機能

変 更 前 (注1)	変 更 後
<p>(1) 中央制御室機能 中央制御室 (1,2号機共用 (以下同じ。)) は以下の機能を有する。 発電用原子炉の反応度制御系統及び原子炉停止系統に係る設備を操作する機能、発電用原子炉を安全に停止するために必要な安全保護装置及び工学的安全施設を操作できるものとする。 発電用原子炉及び主要な関連設備の運転状況 (発電用原子炉の制御棒の動作状態、発電用原子炉及び1次冷却系統に係る主要なポンプの起動・停止状態、発電用原子炉及び1次冷却系統に係る主要な弁の開閉状態) の監視及び操作する機能、発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な操作を手動により行うことができるものとする。</p>	<p>(1) 中央制御室機能 中央制御室 (1,2号機共用 (以下同じ。)) は以下の機能を有する。 発電用原子炉の反応度制御系統及び原子炉停止系統に係る設備を操作する機能、発電用原子炉を安全に停止するために必要な安全保護装置及び工学的安全施設を操作できるものとする。 発電用原子炉及び主要な関連設備の運転状況 (発電用原子炉の制御棒の動作状態、発電用原子炉及び1次冷却系統に係る主要なポンプの起動・停止状態、発電用原子炉及び1次冷却系統に係る主要な弁の開閉状態) の監視及び操作する機能、発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な操作を手動により行うことができるものとする。</p>
<p>中央制御室機能</p>	<p>a. 中央制御室の共用 中央制御室は、原子炉補助建屋内に設置し、基準地震動による地震力に対して機能を喪失しない設計とするとともに、プラントの状況に応じた運転員の相互融通などを考慮し、居住性にも配慮した共通のスペースとし、必要な情報 (相互のプラント状況、運転員の対応状況等) を共有又は考慮しながら、総合的な運転管理 (事故処置を含む) をすることで安全性の向上を図り、1号機及び2号機で共用できるものとする。また、各号機の監視・操作盤は、共用によって悪影響を及ぼさないよう、一部の共通設備を除いて独立して設置することで、一方の号機の監視・操作中に、他号機のプラント監視機能が喪失しない設計とする。 中央制御室に設置又は保管する設備の一部は、監視及び操作に支障をきたすことなく、共用により発電用原子炉施設の安全性を損なわない設計とする。</p> <p>b. 中央制御室等 中央制御室は、主制御盤、核計装盤、放射線計装盤及び補助制御盤で構成し、設計基準対象施設の健全性を確認するために必要なパラメータ (炉心の中性子束、制御棒位置、1次冷却材の圧力、温度、流量並びに加圧器水位、原子炉格納容器内の圧力及び温度等) を監視できるとともに、全てのプラント運転状態において、運転員に過度な負担とならないよう、中央制御室における監視、操作する対象を定め、プラントの通常運転、安全停止及び事故の対応に必要な操作器、指示計、記録計及び警報装置 (計測制御系統施設、放射線管理施設及び放射性廃棄物の廃棄施設の警報装置を含む。) を有する。</p>

(2/4)

変 更 後

安全保護装置及びそれにより駆動又は制御される機器については、バイパス状態、使用不能状態について表示すること等により運転員が的確に認知できるものとする。

また、運転員の監視及び操作を支援するための装置及びプラント状態の把握を支援する装置として盤面にCRTを有するものとする。

緊急時対策所(指揮所)^(注2)との連絡及び連携の機能にかかわる情報伝達の不備や誤判断が生じないよう、緊急時対策に必要な情報について運転員を介さずとも確認できるものとする。

設計基準対象施設は、プラントの安全上重要な機能に支障をきたすおそれがある機器・弁等に対して、色分けや安全タグの取り付けなどの識別管理や人間工学的な操作性も考慮した監視操作エリア・設備の配置、中央監視操作の盤面配置、理解しやすい表示方法により発電用原子炉施設の状態が正確、かつ迅速に把握できるとともに施設管理を行い、運転員の誤操作を防止する機能を有する。また、保守点検において誤りが生じにくいよう留意したものとす。

中央制御盤は盤面機器(操作器、指示計、警報表示)をシステム毎にグループ化した配列及び色分けによる識別や操作器(コントロールスイッチ)のコード化(色、形状、大きさ等の視覚的要素での識別)等を行うことで、通常運転、運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故時に運転員の誤操作を防止するとともに容易に操作ができるものとする。

当該操作が必要となる理由となった事象が有意な可能性をもって同時にたらされる環境条件及び発電用原子炉施設で有意な可能性をもって同時にたらされる環境条件(地震、内部火災、内部溢水、外部電源喪失及びばい煙や燃焼ガス又は有毒ガス、降下火砕物による操作雰囲気悪化)を想定しても、運転員が運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故に対処するための設備を中央制御室において操作に必要な照明の確保等により容易に操作することができるものとす。現場操作についても設計基準事故時に操作が必要な箇所は環境条件を想定し、適切な対応を行うことにより容易に操作することができるものとする。

c. 外部状況把握

発電用原子炉施設の外部の状況を把握するため、監視カメラ(「1,2号機共用、1号機に設置」、「2号機設備、1,2号機共用、2号機に設置」(以下同じ。))及び風向、風速その他の気象条件を測定できる気象観測装置(1,2号機共用、1号機に設置)を設置し、監視カメラの映像、気象観測装置のパラメータ及び公的機関から地震、津波、竜巻情報等を入力することで中央制御室から発電用原子炉施設に影響を及ぼす可能性のある自然現象等を把握できるものとする。

変 更 前

安全保護装置及びそれにより駆動又は制御される機器については、バイパス状態、使用不能状態について表示すること等により運転員が的確に認知できるものとする。

また、運転員の監視及び操作を支援するための装置及びプラント状態の把握を支援する装置として盤面にCRTを有するものとする。

代替緊急時対策所との連絡及び連携の機能にかかわる情報伝達の不備や誤判断が生じないよう、緊急時対策に必要な情報について運転員を介さずとも確認できるものとする。

設計基準対象施設は、プラントの安全上重要な機能に支障をきたすおそれがある機器・弁等に対して、色分けや安全タグの取り付けなどの識別管理や人間工学的な操作性も考慮した監視操作エリア・設備の配置、中央監視操作の盤面配置、理解しやすい表示方法により発電用原子炉施設の状態が正確、かつ迅速に把握できるとともに施設管理を行い、運転員の誤操作を防止する機能を有する。また、保守点検において誤りが生じにくいよう留意したものとす。

中央制御盤は盤面機器(操作器、指示計、警報表示)をシステム毎にグループ化した配列及び色分けによる識別や操作器(コントロールスイッチ)のコード化(色、形状、大きさ等の視覚的要素での識別)等を行うことで、通常運転、運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故時に運転員の誤操作を防止するとともに容易に操作ができるものとする。

当該操作が必要となる理由となった事象が有意な可能性をもって同時にたらされる環境条件及び発電用原子炉施設で有意な可能性をもって同時にたらされる環境条件(地震、内部火災、内部溢水、外部電源喪失及びばい煙や燃焼ガス又は有毒ガス、降下火砕物による操作雰囲気悪化)を想定しても、運転員が運転時の異常な過渡変化及び設計基準事故に対処するための設備を中央制御室において操作に必要な照明の確保等により容易に操作することができるものとす。現場操作についても設計基準事故時に操作が必要な箇所は環境条件を想定し、適切な対応を行うことにより容易に操作することができるものとする。

c. 外部状況把握

発電用原子炉施設の外部の状況を把握するため、監視カメラ(「1,2号機共用、1号機に設置」、「2号機設備、1,2号機共用、2号機に設置」(以下同じ。))及び風向、風速その他の気象条件を測定できる気象観測装置(1,2号機共用、1号機に設置)を設置し、監視カメラの映像、気象観測装置のパラメータ及び公的機関から地震、津波、竜巻情報等を入力することで中央制御室から発電用原子炉施設に影響を及ぼす可能性のある自然現象等を把握できるものとする。

中 央 制 御 室 機 能

中 央 制 御 室 機 能

(3/4)

変 更 後

監視カメラは監視機能等を持ち、中央制御室にて遠隔操作することにより、発電所構内の周辺状況（海側、山側）を昼夜にわたり把握できる機能を有する。

監視カメラのうち津波監視カメラ（浸水防護施設の設備を計測制御システム施設の設備として兼用）は、地震荷重等を考慮し必要な強度を有する設計とするとともに、2号機の非常用所内電源設備から給電できる設計とする。

d. 居住性の確保

中央制御室及びこれに連絡する通路並びに運転員その他の従事者が中央制御室に入りするための区域は、1次冷却系統に係る発電用原子炉施設の損壊又は故障その他の異常が発生した場合に、中央制御室の建物の気密性、遮蔽その他の適切な放射線防護措置、気体状の放射性物質及び中央制御室外の火災により発生する燃焼ガス又は有毒ガスに対する換気設備の隔離その他の適切な防護措置を講じることにより発電用原子炉の運転の停止その他の発電用原子炉施設の安全性を確保するための措置をとるため中央制御室に入ることができるよう多重性を有するものとする。また、出入りするための区域は、重大事故が発生した場合において中央制御室への汚染の持ち込みを防止するための身体サーベイ、作業服の着替え等を行うための区画を設置できるものとする。

重大事故等が発生した場合においても、中央制御室空調装置（「1,2号機共用」、「2号機設備、1,2号機共用」（以下同じ。））、中央制御室遮蔽（1,2号機共用）、外部遮蔽、可搬型の酸素濃度計（1,2号機共用、1号機に保管（以下同じ。））及び二酸化炭素濃度計（1,2号機共用、1号機に保管（以下同じ。））並びに可搬型照明(SA)（「1,2号機共用、1号機に保管」、「2号機設備、1,2号機共用、2号機に保管」（以下同じ。））の運転員がとどまるために必要な設備により中央制御室内にとどまり必要な操作を行うことが出来るものとする。

中央制御室空調装置及び可搬型照明(SA)は、ディーゼル発電機（「重大事故等時のみ1,2号機共用」、「2号機設備、重大事故等時のみ1,2号機共用」）に加えて、全交流動力電源喪失時においても代替電源設備である大容量空冷式発電機から給電できる設計とする。

室内の酸素濃度及び二酸化炭素濃度が活動に支障がない範囲にあることは、可搬型の酸素濃度計（個数1（予備2））及び二酸化炭素濃度計（個数1（予備2））により把握できるものとし、重大事故等時に中央制御室の制御盤での操作及び重大事故等時に身体サーベイ及び作業服の着替え等に必要な照度の確保は、可搬型照明(SA)（1号機、2号機それぞれで1セット5個、予備2個の合計12個（1号機に6個保管、2号機に6個保管））によりできるものとする。

中 央 制 御 室 機 能

変 更 前 (註1)

監視カメラは監視機能等を持ち、中央制御室にて遠隔操作することにより、発電所構内の周辺状況（海側、山側）を昼夜にわたり把握できる機能を有する。

監視カメラのうち津波監視カメラ（浸水防護施設の設備を計測制御システム施設の設備として兼用）は、地震荷重等を考慮し必要な強度を有する設計とするとともに、2号機の非常用所内電源設備から給電できる設計とする。

d. 居住性の確保

中央制御室及びこれに連絡する通路並びに運転員その他の従事者が中央制御室に入りするための区域は、1次冷却系統に係る発電用原子炉施設の損壊又は故障その他の異常が発生した場合に、中央制御室の建物の気密性、遮蔽その他の適切な放射線防護措置、気体状の放射性物質及び中央制御室外の火災により発生する燃焼ガス又は有毒ガスに対する換気設備の隔離その他の適切な防護措置を講じることにより発電用原子炉の運転の停止その他の発電用原子炉施設の安全性を確保するための措置をとるため中央制御室に入ることができるよう多重性を有するものとする。また、出入りするための区域は、重大事故が発生した場合において中央制御室への汚染の持ち込みを防止するための身体サーベイ、作業服の着替え等を行うための区画を設置できるものとする。

重大事故等が発生した場合においても、中央制御室空調装置（「1,2号機共用」、「2号機設備、1,2号機共用」（以下同じ。））、中央制御室遮蔽（1,2号機共用）、外部遮蔽、可搬型の酸素濃度計（1,2号機共用、1号機に保管（以下同じ。））及び二酸化炭素濃度計（1,2号機共用、1号機に保管（以下同じ。））並びに可搬型照明(SA)（「1,2号機共用、1号機に保管」、「2号機設備、1,2号機共用、2号機に保管」（以下同じ。））の運転員がとどまるために必要な設備により中央制御室内にとどまり必要な操作を行うことが出来るものとする。

中央制御室空調装置及び可搬型照明(SA)は、ディーゼル発電機（「重大事故等時のみ1,2号機共用」、「2号機設備、重大事故等時のみ1,2号機共用」）に加えて、全交流動力電源喪失時においても代替電源設備である大容量空冷式発電機から給電できる設計とする。

室内の酸素濃度及び二酸化炭素濃度が活動に支障がない範囲にあることは、可搬型の酸素濃度計（個数1（予備2））及び二酸化炭素濃度計（個数1（予備2））により把握できるものとし、重大事故等時に中央制御室の制御盤での操作及び重大事故等時に身体サーベイ及び作業服の着替え等に必要な照度の確保は、可搬型照明(SA)（1号機、2号機それぞれで1セット5個、予備2個の合計12個（1号機に6個保管、2号機に6個保管））によりできるものとする。

中 央 制 御 室 機 能

(4/4)

変 更 前 (注1)	変 更 後
<p>e. 通信連絡</p> <p>1 次冷却系統に係る発電用原子炉施設の損壊又は故障その他の異常の際に、中央制御室等から人が立ち入る可能性のある原子炉建屋、タービン建屋等の建屋内外各所の人に操作、作業、退避の指示及び事故対策のための集合等の通信連絡をブザー鳴動等並びに音声等により行うことができるものとする。</p> <p>また、重大事故等が発生した場合において、発電所内の通信連絡をする必要のある場所と通信連絡を行うことができるものとする。</p> <p>通信連絡に関する機能は1号機及び2号機共用とする。</p> <p>中 央 制 御 室 機 能</p>	<p>e. 通信連絡</p> <p>1 次冷却系統に係る発電用原子炉施設の損壊又は故障その他の異常の際に、中央制御室等から人が立ち入る可能性のある原子炉建屋、タービン建屋等の建屋内外各所の人に操作、作業、退避の指示及び事故対策のための集合等の通信連絡をブザー鳴動等並びに音声等により行うことができるものとする。</p> <p>また、重大事故等が発生した場合において、発電所内の通信連絡をする必要のある場所と通信連絡を行うことができるものとする。</p> <p>通信連絡に関する機能は1号機及び2号機共用とする。</p> <p>中 央 制 御 室 機 能</p>

(注1) 下線部について、記載の適正化を行う。

(注2) 連絡及び連携先の名称変更であり中央制御室機能に変更はない。



変 更 後	変 更 前
<p>(2) 中央制御室外原子炉停止機能 中央制御室外原子炉停止機能は以下の機能を有する。 火災その他の異常な状態により中央制御室が使用できない場合において、中央制御室以外の場所から、発電用原子炉を高温停止の状態に直ちに移行させ、及び必要なパラメータを想定される範囲内に制御し、その後、現場操作等と併せて発電用原子炉を安全な低温停止の状態に移行させ、及び低温停止の状態を維持させるために必要な機能を有する中央制御室外原子炉停止装置を有するとともに、保安規定に操作手順を定める。</p>	<p>(2) 中央制御室外原子炉停止機能 中央制御室外原子炉停止機能は以下の機能を有する。 火災その他の異常な状態により中央制御室が使用できない場合において、中央制御室以外の場所から、発電用原子炉を高温停止の状態に直ちに移行させ、及び必要なパラメータを想定される範囲内に制御し、その後、現場操作等と併せて発電用原子炉を安全な低温停止の状態に移行させ、及び低温停止の状態を維持させるために必要な機能を有する中央制御室外原子炉停止装置を有するとともに、保安規定に操作手順を定める。</p>
	<p>中央制御室外原子炉停止機能</p>

九州電力株式会社
川内原子力発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003197号99

成績書管理番号：03

令和3年10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：03

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年10月6日
至 令和3年10月6日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原発本第224号(令和2年3月19日) 原発本第26号(令和2年4月7日) 原発本第108号(令和3年9月30日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：03

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
<p>令和3年 10月6日</p>	<p>良</p>	<p>宇野正登 須貝実</p>	<p>発電用原子炉主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]</p>	<p>なし</p>

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：03

検査年月日：令和3年10月6日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：03

検査年月日：令和3年10月6日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：03

検査年月日：令和3年10月6日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設			
放射線管理用計測装置			
エリアモニタリング設備			
緊急時対策所エリアモニタ (1, 2号機共用)			
移動式周辺モニタリング設備			
可搬型モニタリングポスト (1, 2号機共用)			
可搬型エリアモニタ (1, 2号機共用)			
電離箱サーベイメータ (1, 2号機共用)			
NaI シンチレーションサーベイメータ (1, 2号機共用)			
GM 汚染サーベイメータ (1, 2号機共用)			
ZnS シンチレーションサーベイメータ (1, 2号機共用)			
β線サーベイメータ (1, 2号機共用) (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 校正検査 (計測範囲確認検査、線源校正検査、機器効率検査)	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 20px; margin: 5px auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 60px; height: 20px; margin: 5px auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">記録確認</div>
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録 (※) による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-5-06-01-b ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査) (立会検査)

成績書管理番号：03

検査年月日：令和3年10月6日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象		項目	測定値等	検査結果	検査方法
設備名	管理番号				
緊急時対策所 エリアモニタ (1, 2号機共用)	SN-03-01	性能検査 校正検査 (計測範囲 確認検査、線源校正 検査)	別添2参照	良	目視
以下余白					
備考					

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 検査用計器一覧表

成績書管理番号：03

検査年月日：令和3年10月6日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
性能検査 校正検査	校正用線源 (¹³⁷ Cs)	2677GP	—	—	2020. 6. 4 2022. 6. 30	検査当日の1m の線量当量率 7.7350×10^4 $\mu\text{Sv/h}$
性能検査 校正検査	校正用線源 (¹³⁷ Cs)	7952C0	—	—	2020. 6. 4 2022. 6. 30	検査当日の1m の線量当量率 1.5176×10^3 $\mu\text{Sv/h}$
性能検査 校正検査	校正用線源 (¹³⁷ Cs)	8519C0	—	—	2020. 6. 4 2022. 6. 30	検査当日の1m の線量当量率 2.8956×10^1 $\mu\text{Sv/h}$
性能検査 校正検査	校正線源 装置	SN-55	600mm~5700mm	$\pm 10\text{mm}$	2021. 6. 3 2023. 3. 31	
性能検査 校正検査	マーキュリークリスタル パルサー	SN-K-36	10k~1s ⁻¹ (出力周波数) 1~0.02s ⁻¹ (出力周波数)	$\pm 0.02\%$	2021. 9. 2 2023. 3. 31	
以下余白						

放射線管理施設

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

1 放射線管理用計測装置に係る次の事項（警報装置を有する場合は、その動作範囲を付記すること。）

(2) エリアモニタリング設備に係る次の事項

ハ 緊急時対策所の線量当量率を計測する装置の名称、検出器の種類、計測範囲、取付箇所（常設及び可搬型の別を記載し、監視・記録の場所を付記すること。）及び個数

・可搬型

変 更 前				変 更 後							
名 称	検出器の 種 類	計測範囲	警 報 動 作 範 囲	取 付 箇 所	個 数	名 称	検出器の 種 類	計測範囲	警 報 動 作 範 囲	取 付 箇 所	個 数
放射線管理用計測装置						放射線管理用計測装置					
代替緊急時対策所 エリアモニタ (1,2号機共用)	半導体式	0.001～ 99.99 mSv/h	—	保管場所： 代替緊急時対策所 EL.約25m 取付箇所： 【1号機のみ】1台 代替緊急時対策所 EL.約25m 監視・記録は 代替緊急時対策所	1 (予備1)	放射線管理用計測装置	緊急時対策所 エリアモニタ (1,2号機共用)	半導体式	0.001～ 99.99 mSv/h	保管場所： 緊急時対策棟（指揮所） EL.25.3m 取付箇所： 【1号機のみ】2台 緊急時対策所（指揮所） EL.25.3m 監視・記録は 緊急時対策所（指揮所）	2 (予備1)

(注) 代替緊急時対策所から緊急時対策所（指揮所）への緊急時対策所機能の移行をもって廃止。

□：検査対象範囲

(4) 移動式周辺モニタリング設備の名称、検出器の種類、計測範囲、個数及び取付箇所

(1/2)

名称	変更前				変更後					
	検出器の種類	計測範囲	警動作範囲	個数	取付箇所	検出器の種類	計測範囲	警動作範囲	個数	
可機型 モニタリング ポスト (1,2号機共用)	NaI(Tl) シンチレ ーション	0~100 mGy/h	-	5 (予備1)	保管場所： 代替緊急時対策所 E.L.約25m 取付箇所： 各1台 モニタリングステーション付近 (屋外 E.L.約25m、E.L.約53m) 及び モニタリングポスト付近 (屋外 E.L.約12m、E.L.約36m、 E.L.約55m)	-	変更前と同じ	-	-	保管場所： 緊急時対策棟 (指揮所) E.L.25.3m 取付箇所：変更前と同じ
	半導体式									
可機型エリア モニタ (1,2号機共用)	半導体式	0.001~ 300 mSv/h	-	8 (予備1)	保管場所： 代替緊急時対策所 E.L.約25m 取付箇所： 各1台 原子炉格納施設を囲むように屋 外に8箇所 E.L.約5m：3箇所 E.L.約13m：2箇所 E.L.約22m：1箇所 E.L.約28m：1箇所 E.L.約43m：1箇所	-	変更前と同じ	-	-	保管場所： 緊急時対策棟 (指揮所) E.L.25.3m 取付箇所：変更前と同じ
電離箱サーベ イメータ (1,2号機共用)	NaIシンチレ ーション サーベイ メータ (1,2号機共用)	1μSv/h ~ 300mSv/h	2 (予備1)	2 (予備1)	保管場所： 代替緊急時対策所 E.L.約25m 取付箇所： 2台 - (注2)	電離箱	変更前と同じ	-	2 (予備1)	保管場所： 緊急時対策棟 (指揮所) E.L.25.3m 取付箇所：変更前と同じ
NaIシンチレ ーション サーベイ メータ (1,2号機共用)	NaI(Tl) シンチレ ーション	0~30 μGy/h 0~30 μSv/h	2 (予備1)	2 (予備1)	保管場所： 代替緊急時対策所 E.L.約25m 取付箇所： 2台 - (注2)	NaIシンチレ ーション	変更前と同じ	-	2 (予備1)	保管場所： 緊急時対策棟 (指揮所) E.L.25.3m 取付箇所：変更前と同じ

放射線管理用計測装置

検査対象範囲

(2/2)

名称		変更前				変更後			
検出器の種類	計測範囲	警動作範囲	個数	取付箇所	検出器の種類	計測範囲	警動作範囲	個数	取付箇所
GM汚染サーベイメータ (1,2号機共用)	0~100 kmin ⁻¹	-	2 (予備1)	保管場所： 代替緊急時対策所 E.L.約25m 取付箇所： 2台 〔 注2 〕	放射線管理用計測装置	変更前と同じ	変更前と同じ		保管場所： 緊急時対策棟(指揮所) E.L.25.3m 取付箇所：変更前と同じ
ZnSシンチレーション サーベイメータ (1,2号機共用)	0~100 kmin ⁻¹	-	1 (予備1)	保管場所： 代替緊急時対策所 E.L.約25m 取付箇所： 1台 〔 注2 〕	放射線管理用計測装置	変更前と同じ	変更前と同じ		保管場所： 緊急時対策棟(指揮所) E.L.25.3m 取付箇所：変更前と同じ
β線サーベイメータ (1,2号機共用)	0~100 kmin ⁻¹	-	1 (予備1)	保管場所： 代替緊急時対策所 E.L.約25m 取付箇所： 1台 〔 注2 〕	放射線管理用計測装置	変更前と同じ	変更前と同じ		保管場所： 緊急時対策棟(指揮所) E.L.25.3m 取付箇所：変更前と同じ

(注1) 8個のうち1個及び予備1個は、その他発電用原子炉の附属施設 緊急時対策所のうち緊急時対策所機能と兼用。

(注2) 発電所及びその周辺(発電所の周辺海域を含む。)のうち、任意の場所でのモニタリング時に使用する。

□ : 検査対象範囲

校正検査記録 (計測範囲確認検査)	
計測範囲 (mSv/h)	測定値 (mSv/h)
0.001	0.001
99.99	99.99

校正検査記録 (線源校正検査)		
基準値 (mSv/h)	許容値 ^{※1} (mSv/h)	測定値 (mSv/h)
0.005	0.004~0.006	0.0046
0.050	0.045~0.055	0.0488
0.500	0.450~0.550	0.4952
5.000	4.500~5.500	4.9806
50.00	45.00~55.00	49.736

※1：許容値はメーカー基準による。

九州電力株式会社
川内原子力発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003197号99

成績書管理番号：04

令和3年10月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：04

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年10月14日
至 令和3年10月21日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

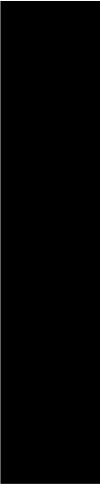

検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原発本第224号 (令和2年3月19日) 原発本第26号 (令和2年4月7日) 原発本第108号 (令和3年9月30日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：04

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 10月14日	良	吉村直樹 平沢 浩	発電用原子炉 主任技術者  ボイラー・タービン主任技術者 	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：04

検査年月日：令和 3 年 10 月 14 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号: 04

検査年月日: 令和 3 年 10 月 14 日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：04

検査年月日：令和 3 年 10 月 14 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設 換気設備 フィルター 緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット (1, 2号機共用) 別添 1 参照			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
性能検査 フィルタ性能検査 微粒子フィルタ性能検査 よう素フィルタ性能検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 ^{※1} 記録確認
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-⁵06-02-f ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：フィルタ性能検査(よう素フィルタ性能検査)として、<u>A</u> 緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニットに対し目視検査を実施。 			

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査) (立会検査)

成績書管理番号: 04

検査年月日: 令和 3 年 10 月 14 日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
放射線管理施設 換気設備 フィルター 緊急時対策所非常用空気 浄化フィルタユニット (1, 2号機共用)	性能検査 フィルタ性能検査 ※2	別添 2 参照	良	目視
備考 ※2: フィルタ性能検査 (よう素フィルタ性能検査) として、 <u>A</u> 緊急時対策所非常用空気浄化 フィルタユニットに対し目視検査を実施。				

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 検査用計器一覧表

成績書管理番号：04

検査年月日：令和3年10月14日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
性能検査	フッ素化炭素化合物濃度測定装置	IPT-SGC- 002	0.2ppm~ 100ppm	±5%F.S.	2020年8月27日	(上流)
			0.02ppm~ 1.00ppm		2022年2月26日	(下流)
以下余白						

放射線管理施設
2 換気設備

(6) フィルター（公衆の放射線障害の防止及び中央制御室の従事者等の放射線防護を目的として設置するものに限る。）の名称、種類、主要寸法、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

種 類		変 更 前		変 更 後	
名 称	種 類	種 類	種 類	種 類	種 類
緊急時対策所非常用空気浄化ユニット (1,2号機共用)	微粒子フィルター	緊急時対策所非常用空気浄化ユニット (1,2号機共用)	微粒子フィルター	緊急時対策所非常用空気浄化ユニット (1,2号機共用)	微粒子フィルター
単体除去効率	%	95 以上 (有機よう素)	99 以上 (無機よう素)	99.97 以上 (0.15 μm 粒子)	99.97 以上 (0.15 μm 粒子)
総合除去効率	%	99.99 以上 (有機よう素) (相対湿度95%、温度30℃において)	99.99 以上 (無機よう素) (相対湿度95%、温度30℃において)	99.99 以上 (有機よう素) (0.7 μm 粒子)	99.99 以上 (有機よう素) (0.7 μm 粒子)
主 要 寸 法	mm	708 × 708	558 × 558	708 × 708	558 × 558
個	個	2	2,279	2	2,279
取 付 箇 所	取 付 箇 所	緊急時対策所非常用空気浄化ユニット A 緊急時対策所非常用空気浄化ライン 緊急時対策棟 (指揮所) 屋上 EL.37.3m	緊急時対策所非常用空気浄化ユニット B 緊急時対策所非常用空気浄化ライン 緊急時対策棟 (指揮所) 屋上 EL.37.3m	緊急時対策所非常用空気浄化ユニット A 緊急時対策所非常用空気浄化ライン 緊急時対策棟 (指揮所) 屋上 EL.37.3m	緊急時対策所非常用空気浄化ユニット B 緊急時対策所非常用空気浄化ライン 緊急時対策棟 (指揮所) 屋上 EL.37.3m

(注1) 重大事故等時における使用時の値。

(注2) フィルター2段

(注3) 公称値

性能検査 (フィルタ性能検査)

検査年月日 令和3年10月14日

検査項目	名称	判定基準	除去効率 (%)	結果
よう素フィルタ性能検査 (総合除去効率) (有機よう素)	緊急時対策所非常用空 気浄化フィルタユニッ ト (1, 2)	99.75%以上	99.999 ※1	良
よう素フィルタ性能検査 (総合除去効率) (無機よう素)		99.99%以上	99.999 ※1	良

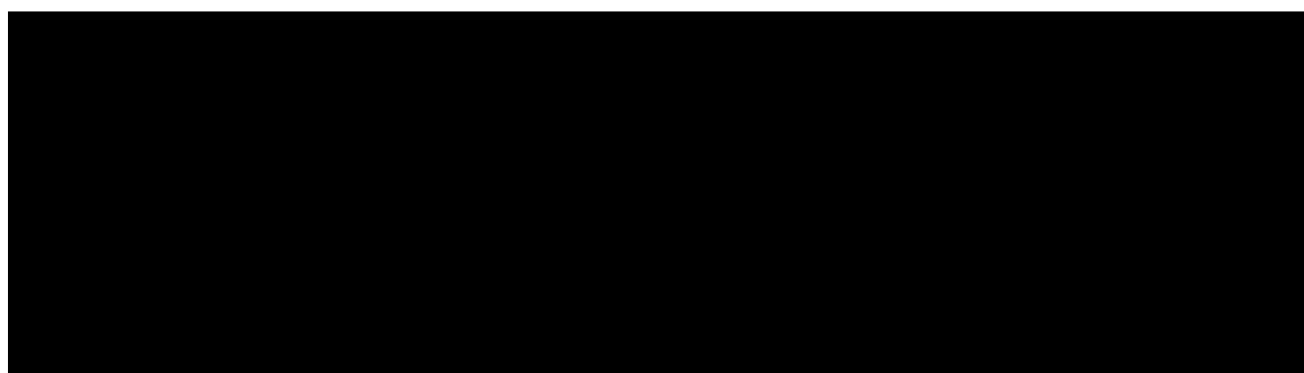
備考

※1 : 別添 2 (3/3) 参照

フィルタ除去効率計算書（よう素フィルタ（総合除去効率））
 (A 緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット)

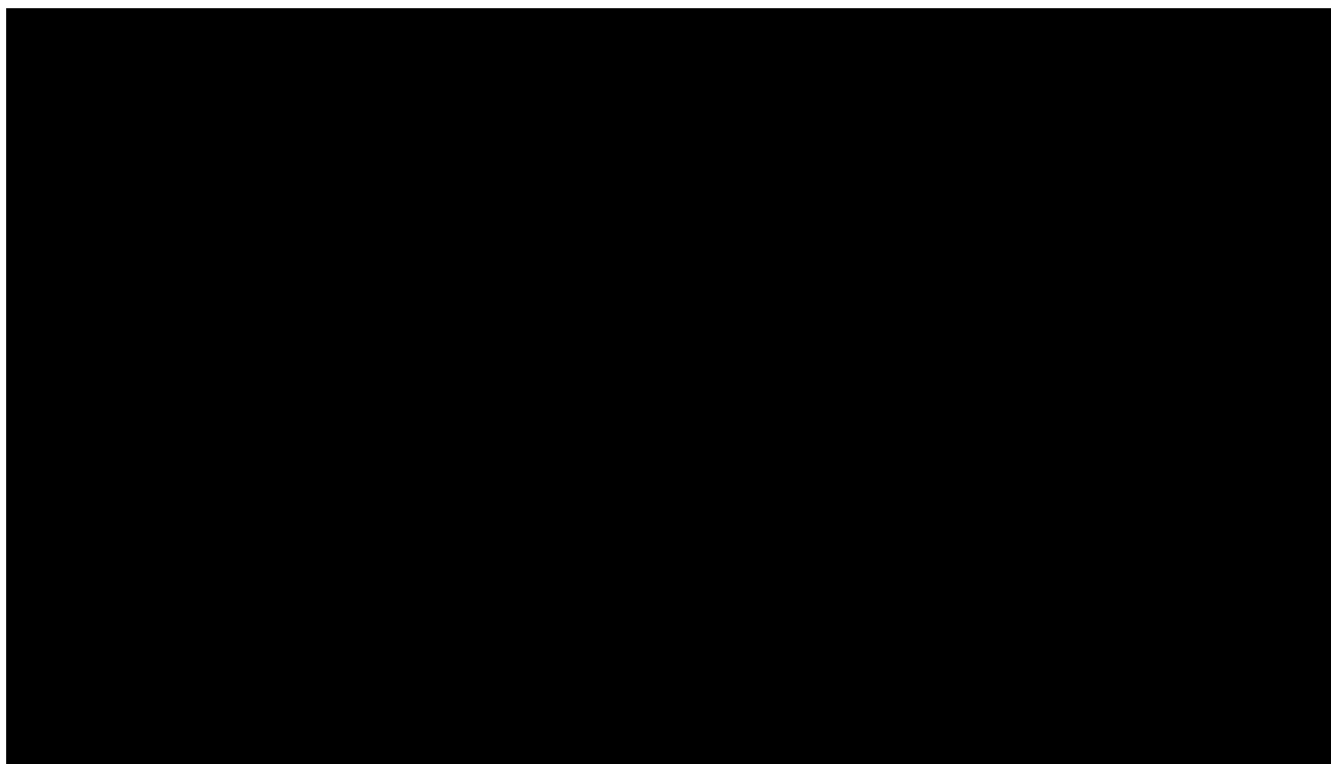
1. よう素フィルタ（前段）【立会】

	上流側濃度 (ppm) ※1	下流側濃度 (ppm) ※2
BG濃度	(ア) 0.2(0.000)	(ウ) 0.046
フッ素化炭素化合物ガス濃度	(イ) 61.450	(エ) 0.02(0.000)



よう素フィルタ単体除去効率【QSN-1-5-06-02-fにより確認】

単体除去効率（有機よう素）（%）	(カ) 99.8
単体除去効率（無機よう素）（%）	(キ) 99.9



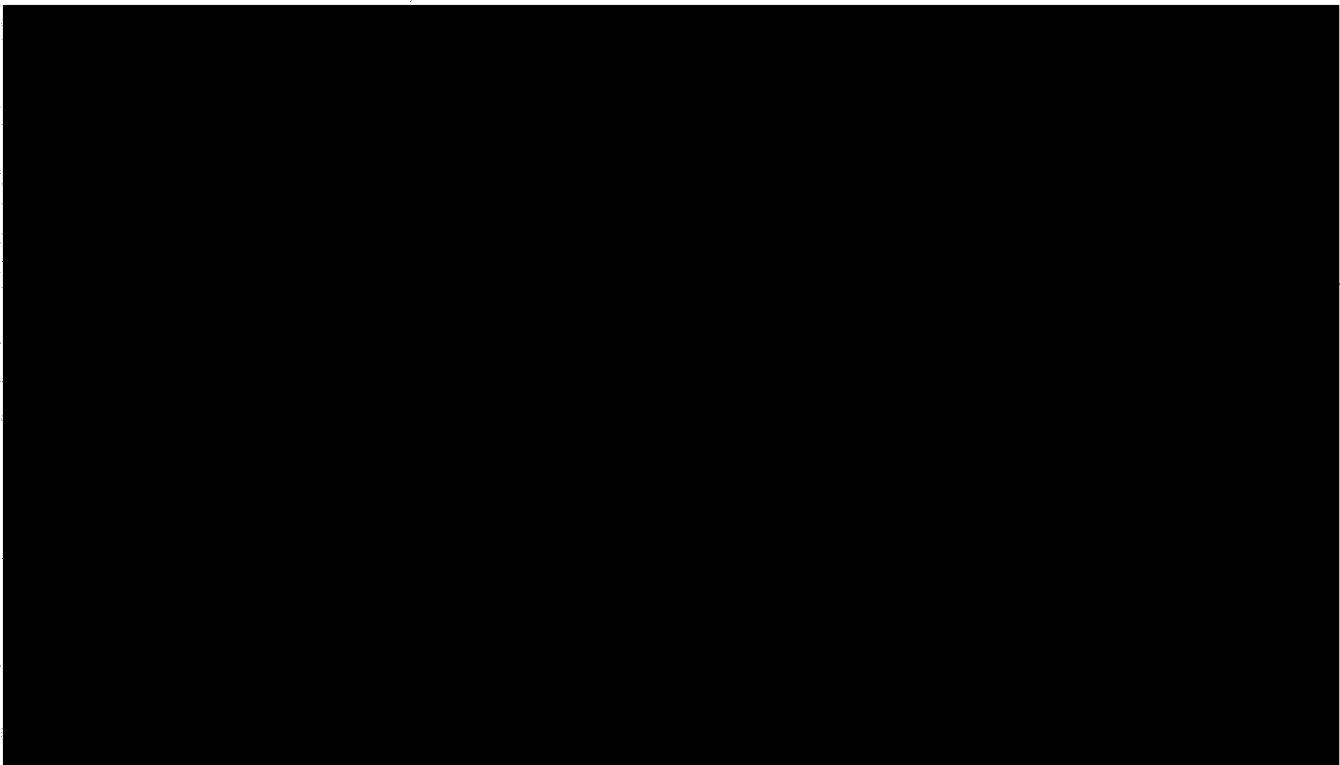
フィルタ除去効率計算書（よう素フィルタ（総合除去効率））
 （A 緊急時対策所非常用空気浄化フィルタユニット）

2. よう素フィルタ（後段）【QSN-1-5-06-02-fにより確認】

有機よう素後段除去効率(%)	(コ)	99.780
無機よう素後段除去効率(%)	(サ)	99.880

3. 総合除去効率

有機よう素総合除去効率(%)	(シ)	99.999
無機よう素総合除去効率(%)	(ス)	99.999



検査結果一覧表

成績書管理番号：04

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
<p>令和3年 10月19日</p>	<p>良</p>	<p>須貝 実 平沢 淳</p>	<p>発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]</p>	<p>なし</p>

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：04

検査年月日：令和 3 年 10 月 19 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：04

検査年月日：令和3年10月19日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査) (立会検査)

成績書管理番号: 04

検査年月日: 令和3年10月19日

検査場所: 九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象	項目	測定値等	検査結果	検査方法
A緊急時対策所非常用 空気浄化ファン ～ A緊急時対策所非常用 空気浄化フィルタユニット ～ 緊急時対策所非常用 空気浄化ライン 緊急時対策棟(指揮所) 出口取合点 (1,2号機共用) (別添2参照)	系統機能検査 通気検査	異常なく通気 されること	良	目視
B緊急時対策所非常用 空気浄化ファン (1,2号機共用)	系統性能検査 運転性能検査	別添3参照	良	
備考				

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機

使用前検査記録 検査用計器一覧表

成績書管理番号：04

検査年月日：令和3年10月19日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
系統性能検査 運転性能検査	アネモマスター スタンダード	392031	0~30 m/s	±3%rdg or ±0.02 m/s	2021. 9. 14 2022. 9. 30	
以下余白						

放射線管理施設
2 換気設備
(3) 主配管

・常設

変更前				変更後			
名	称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (℃)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名
換気設備							
							緊急時対策所非常用 空気浄化ファン ~ 緊急時対策所非常用 空気浄化フィルタユニット ~ 緊急時対策所非常用 空気浄化ライン 緊急時対策棟 (指揮所) 出口取合点 (1,2号機共用)
				(注2) 318.5	(注2) 10.3	STPT370	(注2) 318.5
				(注2) 318.5	(注2) 10.3	STPT370	(注2) 318.5
				(注2) 306.0	(注2) 3.0		(注2) 306.0
				(注2) 456.0	(注2) 3.0		(注2) 456.0
		(注1) 0.0054	(注1) 50	(注2) 456.0 /	(注2) 3.0 /		(注2) 456.0 /
				556.0 ×	3.0 /		556.0 ×
				556.0	3.0	SUS304	556.0
				(注2) 530.0 ×	(注2) 3.0 /		(注2) 530.0 ×
				280.0	3.0		280.0
				556.0 ×	3.0		556.0 ×
				556.0	3.0		556.0
				(注2) 556.0 ×	(注2) 3.0		(注2) 556.0 ×
				556.0	3.0		556.0
							(次頁へ続く)

☐ : 検査対象範囲

変 更 前				変 更 後							
名 称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料
換気設備						(前頁からの続き)			^(注2) 556.0 × 556.0 / 706.0 × 706.0	^(注2) 3.0 / 3.0	SUS304
換気設備											
						緊急時対策所加圧ライン ポンベラック恒設配管接続 フレキシブルホース 出口接続口 ～ 流量調整弁 (指揮所) 及び 緊急時対策所加圧ライン 緊急時対策棟 (指揮所) 出口取合点 (1.2号機共用) (次頁へ続く)	^(注1) 0.0054	^(注1) F0	^(注2) 27.2 × 706.0 706.0	^(注2) 2.5 / 3.5	SUS304TP
							^(注1) 0.99	^(注1) 40	^(注2) 60.5 × 89.1 60.5	^(注2) 4.0 / 3.5	SUS304TP

☐ : 検査対象範囲

(4) 送風機の名称、種類、容量、主要寸法、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）並びに設計上の空気の流入率

・常設

名称		変更前		変更後	
種別	類	種別	類	種別	類
送風機	緊急時対策所非常用空気浄化ファン (1,2号機共用)	緊急時対策所非常用空気浄化ファン (1,2号機共用)	緊急時対策所非常用空気浄化ファン (1,2号機共用)	緊急時対策所非常用空気浄化ファン (1,2号機共用)	緊急時対策所非常用空気浄化ファン (1,2号機共用)
容量	速心式	速心式	速心式	速心式	速心式
吸込内径	以上 (130 (注2))	以上 (130 (注2))	以上 (130 (注2))	以上 (130 (注2))	以上 (130 (注2))
吐出内径	545 (注2)	545 (注2)	545 (注2)	545 (注2)	545 (注2)
吐出口径	521×268 (注2)	521×268 (注2)	521×268 (注2)	521×268 (注2)	521×268 (注2)
横	1,610 (注2)	1,610 (注2)	1,610 (注2)	1,610 (注2)	1,610 (注2)
高さ	2,185 (注2)	2,185 (注2)	2,185 (注2)	2,185 (注2)	2,185 (注2)
個数	1,850 (注2)	1,850 (注2)	1,850 (注2)	1,850 (注2)	1,850 (注2)
取付箇所	2	2	2	2	2
系統名 (ライン名)	A緊急時対策所非常用空気浄化ファン A緊急時対策所非常用空気浄化ライン	A緊急時対策所非常用空気浄化ファン A緊急時対策所非常用空気浄化ライン	A緊急時対策所非常用空気浄化ファン A緊急時対策所非常用空気浄化ライン	A緊急時対策所非常用空気浄化ファン A緊急時対策所非常用空気浄化ライン	B緊急時対策所非常用空気浄化ファン B緊急時対策所非常用空気浄化ライン
設置床	緊急時対策棟 (指揮所) 地上2階 EL.30.45m	緊急時対策棟 (指揮所) 地上2階 EL.30.45m	緊急時対策棟 (指揮所) 地上2階 EL.30.45m	緊急時対策棟 (指揮所) 地上2階 EL.30.45m	緊急時対策棟 (指揮所) 地上2階 EL.30.45m
溢水防護上の区画番号	12T-B-9	12T-B-9	12T-B-9	12T-B-9	12T-B-9
溢水防護上の高さ	EL.30.55m以上	EL.30.55m以上	EL.30.55m以上	EL.30.55m以上	EL.30.55m以上
原動機	三相誘導電動機	三相誘導電動機	三相誘導電動機	三相誘導電動機	三相誘導電動機
出力	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5
個数	2	2	2	2	2
取付箇所	送風機と同じ	送風機と同じ	送風機と同じ	送風機と同じ	送風機と同じ
設計上の空気の流入率	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)

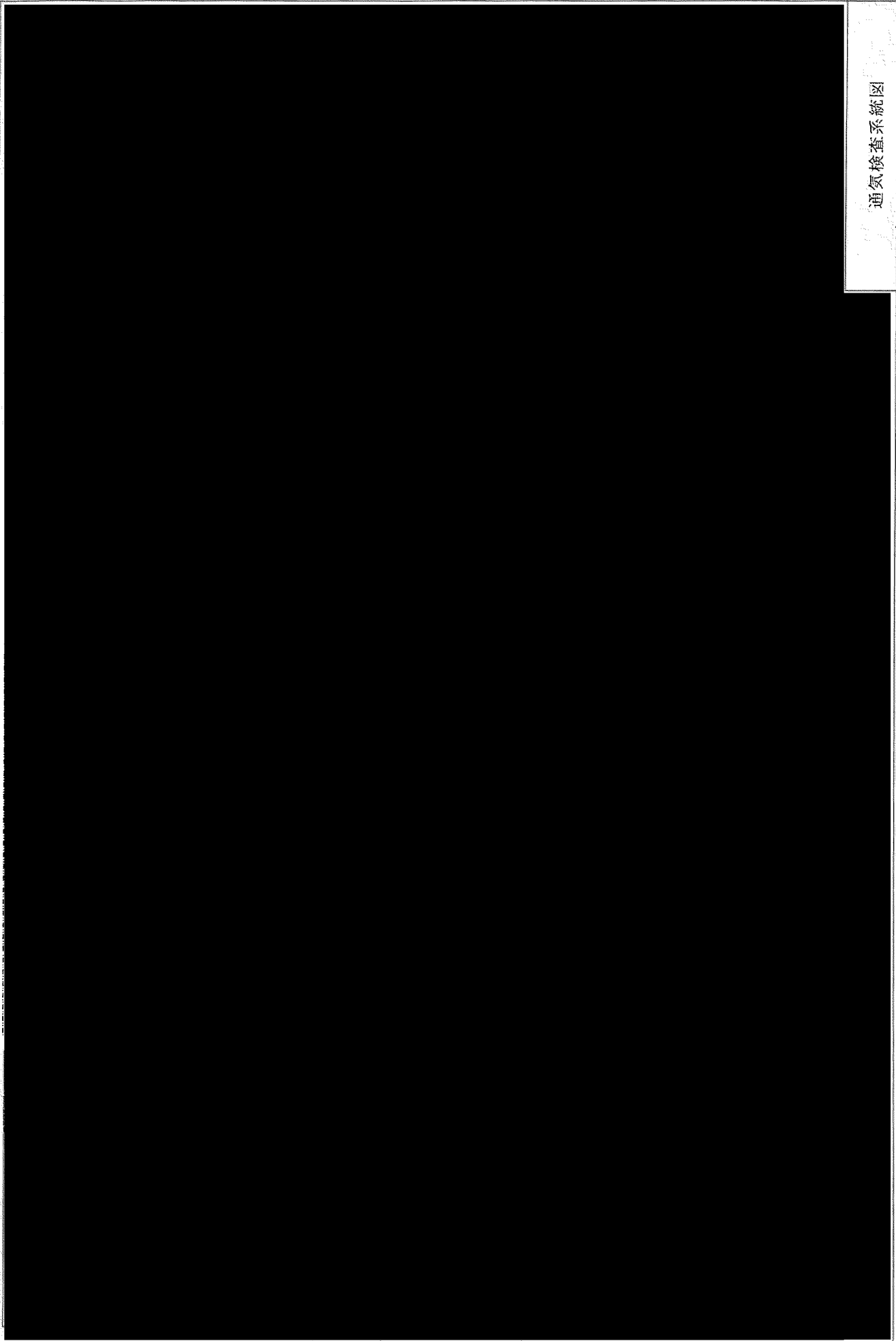
(注1) 重大事故等時における使用時の値。

(注2) 公称値

(注3) 正圧管理

: 検査対象範囲

通気検査系統図



運転性能検査記録			
検査対象	容量 (m ³ /min)		
	工事計画 記載値	許容値 ^{*3}	測定値
B緊急時対策所非常用 空気浄化ファン (1,2号機共用)	■以上 (130 ^{*1})	■以上	150.3

※1：公称値

※2：許容値はメーカー基準による。

検査結果一覧表

成績書管理番号：04

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 10月21日	良	須貝実 平沢淳	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第 1 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：04

検査年月日：令和 3 年 10 月 21 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：04

検査年月日：令和3年10月21日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ ◎記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：04

検査年月日：令和3年10月21日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設			
換気設備			
容器			
主配管 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 通気検査 系統性能検査 容量確認検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考			
<ul style="list-style-type: none"> 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN1-5-06-02-a(1) QSN1-5-06-02-a(2) 目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 			

放射線管理施設
2 換気設備
(1) 容器
・可搬型

変 更 後		変 更 前	
名	空気ポンプ (緊急時対策所用) (1,2号機共用)		
種	鋼製容器		
容	46.7 以上 (46.7 (注2))		
最 高 使 用 圧 力 (注1)	14.7		
最 高 使 用 温 度 (注1)	40		
主 要 寸 法	外 径	282 (注2)	
	高 さ	1,370 (注2)	
	胴 部 厚 さ	5.1 (5.1 (注2))	
	底 部 厚 さ	10.2 (10.2 (注2))	
材 料	STH12		
個 数	1,400 (予備280)		
取 付 箇 所	保管場所： 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) E.L.19.925m 及び 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) E.L.15.0m 取付箇所： 【1号機のみ】 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) E.L.19.925m : 700本 及び 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) E.L.15.0m : 700本		

(注1) 重大事故等時における使用時の値。

(注2) 公称値

☐ : 検査対象範囲

・可搬型

変更前			変更後				
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
換気設備							保管場所： 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.19.925m 及び 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.15.0m
換気設備							取付箇所 【1号機のみ】 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.19.925m 空気ボンベ (緊急時対策所用) ～緊急時対策所加圧ラインボンベラック マニホールド上流閉止端 及び 緊急時対策所加圧ラインボンベラック マニホールド下流止弁：5個 及び 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.15.0m 空気ボンベ (緊急時対策所用) ～緊急時対策所加圧ラインボンベラック マニホールド上流閉止端 及び 緊急時対策所加圧ラインボンベラック マニホールド下流止弁：5個
換気設備	(注1) 14.7	(注1) 40		(注2) 6.35 1.0	SUS304TP	10 (予備2)	
換気設備				(注2) 27.2 2.9			

☐ : 検査対象範囲

変 更 前				変 更 後			
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所
換気設備							
換気設備	(注1) 14.7	(注1) 40	(注2) 6.35	(注2) 1.0	SUS304TP	60 (予備12)	保管場所： 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.19.925m 及び 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.15.0m 取付箇所 【1号機のみ】 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.19.925m 空気ポンベ (緊急時対策所用) ~緊急時対策所加圧ラインポンベベンラック マニホールド上流止弁 及び 緊急時対策所加圧ラインポンベベンラック マニホールド下流止弁：30個 及び 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.15.0m 空気ポンベ (緊急時対策所用) ~緊急時対策所加圧ラインポンベベンラック マニホールド上流止弁 及び 緊急時対策所加圧ラインポンベベンラック マニホールド下流止弁：30個

☐ : 検査対象範囲

変更前			変更後							
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数	取付箇所			
換気設備							保管場所： 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.19.925m 及び 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.15.0m			
換気設備							取付箇所 【1号機のみ】 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.19.925m 緊急時対策所加圧ラインボンベラック マニホールド下流止弁 ～緊急時対策所加圧ラインボンベラック 恒設配管接続フレキシブルホース 入口接続口：5個 及び 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.15.0m 緊急時対策所加圧ラインボンベラック マニホールド下流止弁 ～緊急時対策所加圧ラインボンベラック 恒設配管接続フレキシブルホース 入口接続口：5個			
				(注1) 40	(注1) 14.7	(注2) 27.2	(注2) 2.9	SUS304TP	10 (予備2)	
名称		緊急時対策所加圧ラインボンベラックマニホールド下流止弁 ～ 緊急時対策所加圧ラインボンベラック恒設配管接続フレキシブルホース入口接続口 (1,2号機共用)								

☐ : 検査対象範囲

変 更 前		変 更 後				
名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	個数
換気設備						
換気設備	(注1) 14.7	(注1) 40	(注3) 25A	(注4) —	(内側) PFA (外側) SUS304	60 (予備12)
緊急時対策所加圧ライン ボンベラック間 フレキシブルホース (1,2号機共用)						
取付箇所 【1号機のみ】 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.19.925m 及び 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.15.0m						
保管場所： 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.19.925m 及び 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.15.0m						
取付箇所 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.19.925m 緊急時対策所加圧ラインボンベラック マニホールド下流止弁 ~緊急時対策所加圧ラインボンベラック マニホールド上流止弁：30本 及び 緊急時対策棟屋外地下エリア (加圧設備) EL.15.0m 緊急時対策所加圧ラインボンベラック マニホールド下流止弁 ~緊急時対策所加圧ラインボンベラック マニホールド上流止弁：30本						

☐ : 検査対象範囲

九州電力株式会社
川内原子力発電所第1号機
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003197号99

成績書管理番号：05

令和3年11月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：05

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和3年11月5日
至 令和3年11月5日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

検査申請一覧表

検査申請書番号	原発本第224号（令和2年3月19日）
（申請年月日）	原発本第26号（令和2年4月7日）
	原発本第108号（令和3年9月30日）

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：05

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 11月5日	良	渋谷 徹 宇野 正登	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：05

検査年月日：令和3年11月5日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機
使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：05

検査年月日：令和3年 11月 5日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	良・⊖	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

九州電力株式会社川内原子力発電所第1号機 使用前検査記録 (五号検査)

成績書管理番号：05

検査年月日： 令和3年 11月 5日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査結果

検査対象			
放射線管理施設 生体遮蔽装置 緊急時対策所遮蔽 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
機能検査 外観検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考			
<ul style="list-style-type: none"> 記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 			

放射線管理施設

3 生体遮蔽装置（一次遮蔽、二次遮蔽、補助遮蔽、中央制御室遮蔽、外部遮蔽並びに緊急時対策室において従事者等の放射線防護を目的として設置するものに限る。使用済燃料運搬用容器の放射線遮蔽材、使用済燃料貯蔵用容器の放射線遮蔽材、放射性廃棄物運搬用容器の放射線遮蔽材及び一時的に設置するものを除く。）の名称、種類、主要寸法、冷却方法及び材料

変 更 前				変 更 後			
名 種	称 類	主要寸法 (最小厚さ) (mm)	冷却方法	材	料	称 類	主要寸法 (最小厚さ) (mm)
生 体 遮 蔽 装 置	生 体 遮 蔽 装 置 緊急時対策所遮蔽 (緊急時対策所(指揮所)) (1,2号機共用)	—	—	—	—	壁	695 (700 ^(注1))
						天井	695 (700 ^(注1))
						床	695 (700 ^(注1))
						遮蔽体	695 (700 ^(注1))
						鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)	自然冷却
						鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)	自然冷却
						鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)	自然冷却
						鉄筋コンクリート (比重2.15 以上)	自然冷却

(注1) 公称値